集英社版・学習漫画　世界の伝記

ナポレオン

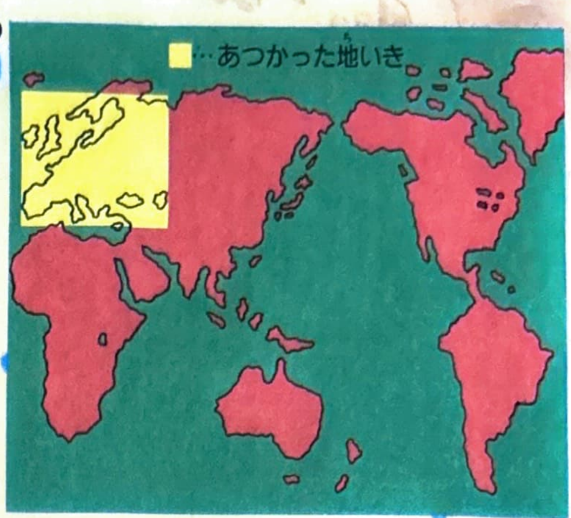
荒れ野のライオンとよばれた英雄

監修　東京大学名誉教授　木村尚三郎



●皇帝の衣装を身につけたナポレオン●





ウェーデン

モスクワ

ロシア遠征に失敗(1812)

ラトビア

バルト海

リトアニア

ポーランド

アウステルリッツ

スロバキア

ハンガリー

ルーマニア

ブルガリア

黒海

アウステルリッツの戦いに勝つ(1805)

アルバニア

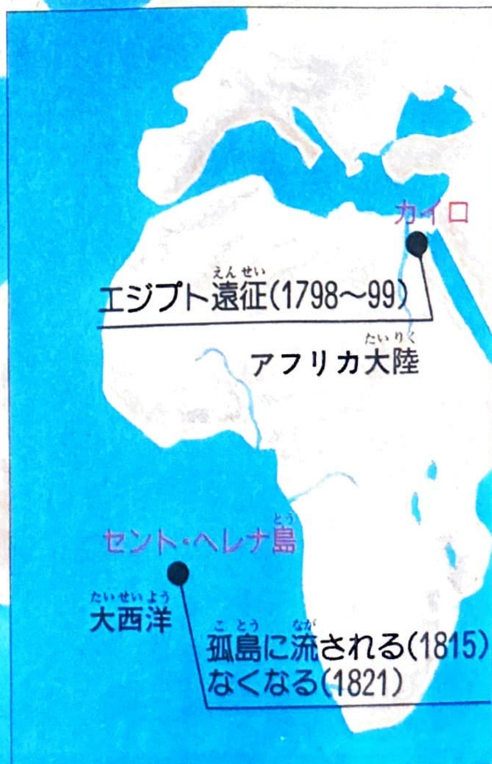
ギリシャ

トルコ

地中海

●戴冠式のようす●





ナポレオン・関係地図

○ナポレオンに関係のあるおもなできごとをのせました。
○(　)内の数字は西暦です。
○地名は、現在のものです。



学習漫画

世界の伝記

ナポレオン

監修 東京大学名誉教授 木村尚三郎　漫画・古城武司　シナリオ・三上修平



集英社

この本を読むまえに

●この「学習漫画・世界の伝記」は、いろいろな分野で偉業をなしとげた人たちの生涯を、漫画でわかりやすく構成した本です。

●時代背景なども、一目でわかるように各所に写真をいれ、また、資料に忠実に漫画化してあります。

●むずかしいと思われることば、できごとなどは、そのページの欄外に説明してあります。

●解説は監修の先生が、漫画で扱えなかったエピソードや人柄を中心にえがきました。本文とあわせて読むことによって、いっそう理解が深まります。

●年表には、この巻で扱った人物の生涯を中心に、そのころおこった世界や日本のできごとをのせてあります。歴史の知識もあわせて身につきます。

●登場人物や事項のページがすぐひけるように、巻末にはさくいんをつけました。





コルシカ島のアジャクシオにある
ナポレオンの生まれた家

この本をつくった人たち

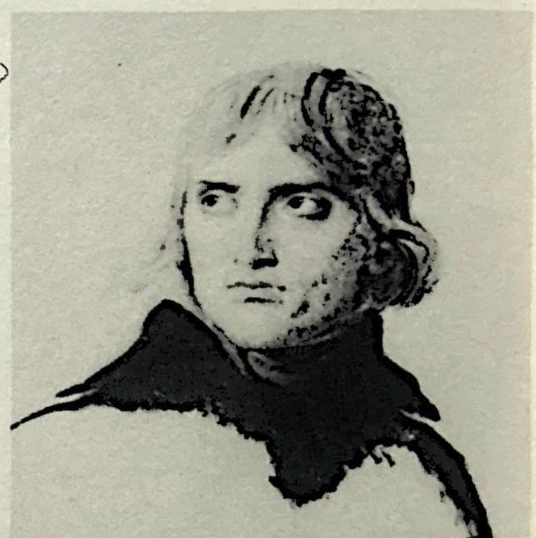
監修　東京大学名誉教授　木村尚三郎
シナリオ　三上修平
漫画　古城武司
写真　オリオンプレス
　　　フランス大使館
　　　フランス政府観光局
彩色　L・A・C
版下　ノア・工房
装丁　鈴木安男
編集　(株)尚企画

世界の伝記

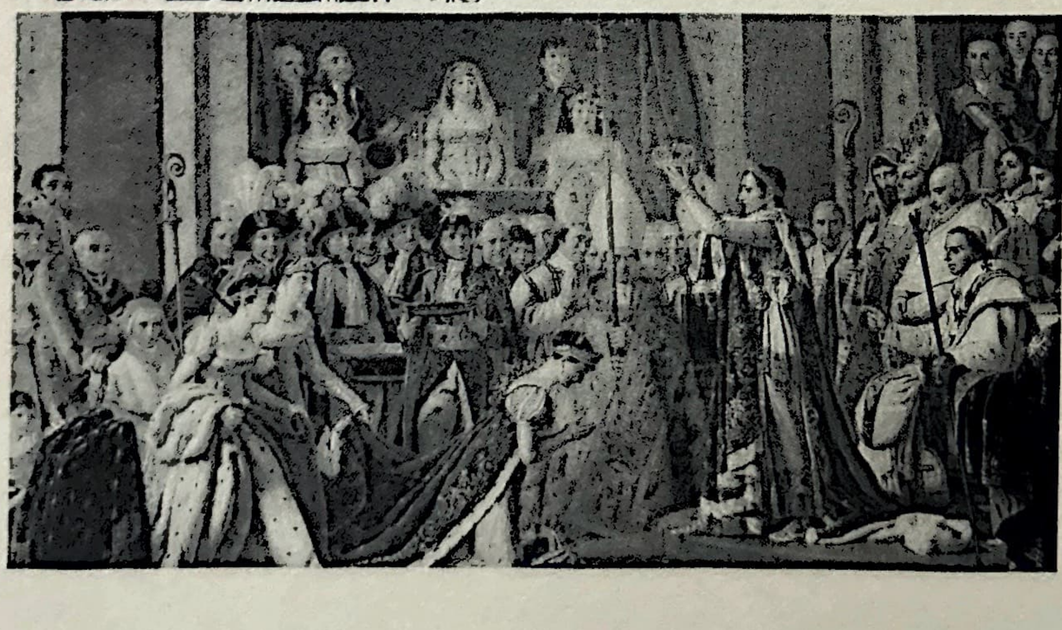
ナポレオン

もくじ





↑二九歳のころのナポレオン



←戴冠式のようす
ナポレオンが冠をジョゼフィーヌにかぶせようとしているところ



荒れ野のライオン
一八世紀の後半――
イタリアの西方
フランスの南の海にうかぶ
コルシカ島で
ナポレオンは生まれました。
雨がやんだぞ また 遊びのつづきを やろうぜ
ワーイ
あ みんなみて きれいな にじが
ん?


荒れ野のライオン
一八世紀の後半――
イタリアの西方
フランスの南の海にうかぶ
コルシカ島で
ナポレオンは生まれました。
雨がやんだぞ
また
遊びのつづきを
やろうぜ
ワーイ
あ
みんなみて
きれいな
にじが
ん?


オータン
フランス
ツーロン
ジェノバ
コルシカ島
アジャクシオ
地中海
ねえ みんな にじをつかまえられたら望みがかなうんですって
ようし それなら ぼくが ぜったい つかまえて やるぞ
こらっ にじめ にげるな！
ナポレオーネ あぶないわよう


ようし今度こそ！
ハァ ハァ ハァ
わあああああ
きゃあ ナポレオーネが！
あいて いてて いてえっ
やれやれ にじを つかまえようと あのがけを 登るとは なんてむちゃを するんだ



※ナポレオーネ・ボナパルテ…そのころコルシカの人びとは、イタリア語にちかいコルシカ語を話していました。そのためコルシカ語ではナポレオーネ・ボナパルテとなります。

※皇帝…国を統一した支配者のことで、政治のすべての権力をにぎっていました。



※ジェノバ…港町でしたが、一二世紀ころから独立した国として、東方との貿易でさかえていました。


みんな立ちあがれ
コルシカの自由と独立を勝ちとろう
一七三六年コルシカ人はついにジェノバにたいして反乱をおこしました。
反乱軍め思いしらせてやる！
ひるむな進め進め！


コルシカ人は老人や女子どもまでが武器をとって戦ったわ
苦しい戦いは二〇年近くもつづいたけれど
ばんざあい ジェノバ人をひとりのこらず島から追いだしたぞ
ついに独立を勝ちとったんだあっ！
そして一七五五年代表者が集まって国民議会がつくられ二九歳のパオリがリーダーにえらばれたの
うん知ってるよパオリってかっこいいなあ
ええわたしたちコルシカ人の英雄よところが…


なにっ フランス軍が せめてきた だと！
ジェノバが フランスに 助けを もとめたよう です
ううむ フランスは ジェノバより 強いぞ
まともに 戦っても 勝ちめはない… ここはしばらく ようすを みるしか あるまい
やがて信じられないことが おこりました。 ジェノバがコルシカ島を フランスに売りわたして しまったのでした。
おれたちの国を かってに 売り買いされて たまるか
コルシカの 独立と自由を 守るのだ！
コルシカ人め われわれ フランス人に 勝てると 思っているのか


こうしてフランス軍との戦いにとうさんはパオリの副官をつとめかあさんもいっしょに戦ったわ
だいじょうぶかレティチア
へいきよカルロ！
さすがにヨーロッパ一の国の軍隊だとても勝ちめはないいな
このおなかの子がいつかきっとかたきをとってくれるわ
たいへんだっ！
とうとうパオリも島を脱出してイギリスへいくらしいぜ
ついに負けたわね…
カルロこれからどうします…？
ざんねんだがフランスにしたがうしかあるまい



こうして一七六九年、コルシカは、フランスに支配されてしまいました。
その年の八月一五日——
ホギャー
ホギャーッ
ホギャア…
おお 生まれたか
あなた ジョゼフに つづいて 男の子よ
よし 名まえは ナポレオーネに しよう
フギャ…
まあ「荒れ野のライオン」という意味ね すてき！
ぼく ぜったい ライオンみたいに 強くてりっぱな 男になるよ
そして パオリのように コルシカ独立の ために戦う いさましい 軍人になるよ


それから数年後、ナポレオンが九歳になったとき――
フランスの王さまがコルシカの子どもたちにフランスで勉強するお金を出してくださることになった
だからおまえたちをフランスへやって勉強させることにした！
そこでおとなしいジョゼフはお坊さまの学校に
わんぱくなナポレオーネは軍人の学校へいれることにした！
フランスか…
そして一七七八年一二月、ナポレオンは父親につれられて兄のジョゼフとともにフランスへむけて出発することになりました。


ジョゼフ　ナポレオーネ　元気でね　フランス人なんかに負けちゃだめよ
かあさん　いってきまあす！
こうして ナポレオンは、生まれてはじめて ふるさとをはなれ、みしらぬ世界へと 旅だったのでした。



軍人への道
一七七九年一月、フランスのオータンの町に着いたナポレオンたちは、
まずフランス語を勉強するためにオータンの学校にはいりました。
ABCDE FGHIJK LMNOP QRSTU VWXYZ
フランス語はぼくたちコルシカ人にとって敵のことばだ！覚えるのはいやだなあ
しいっ！ばかをいうんじゃないよ ぼくたちはフランス国王のおかげで勉強できるんじゃないか
ナポレオンはなかなかフランス語を覚えようとはしませんでしたが、それでも三か月ほどでなんとか読み書きができるようになりました。
そしてその年の四月、それぞれの学校へ入学するためふたりはわかれました。
じゃあ兄さんいくよ元気でねっ
ナポレオーネおたがいにがんばろうな



※士官…兵隊を指揮する軍人のことです。

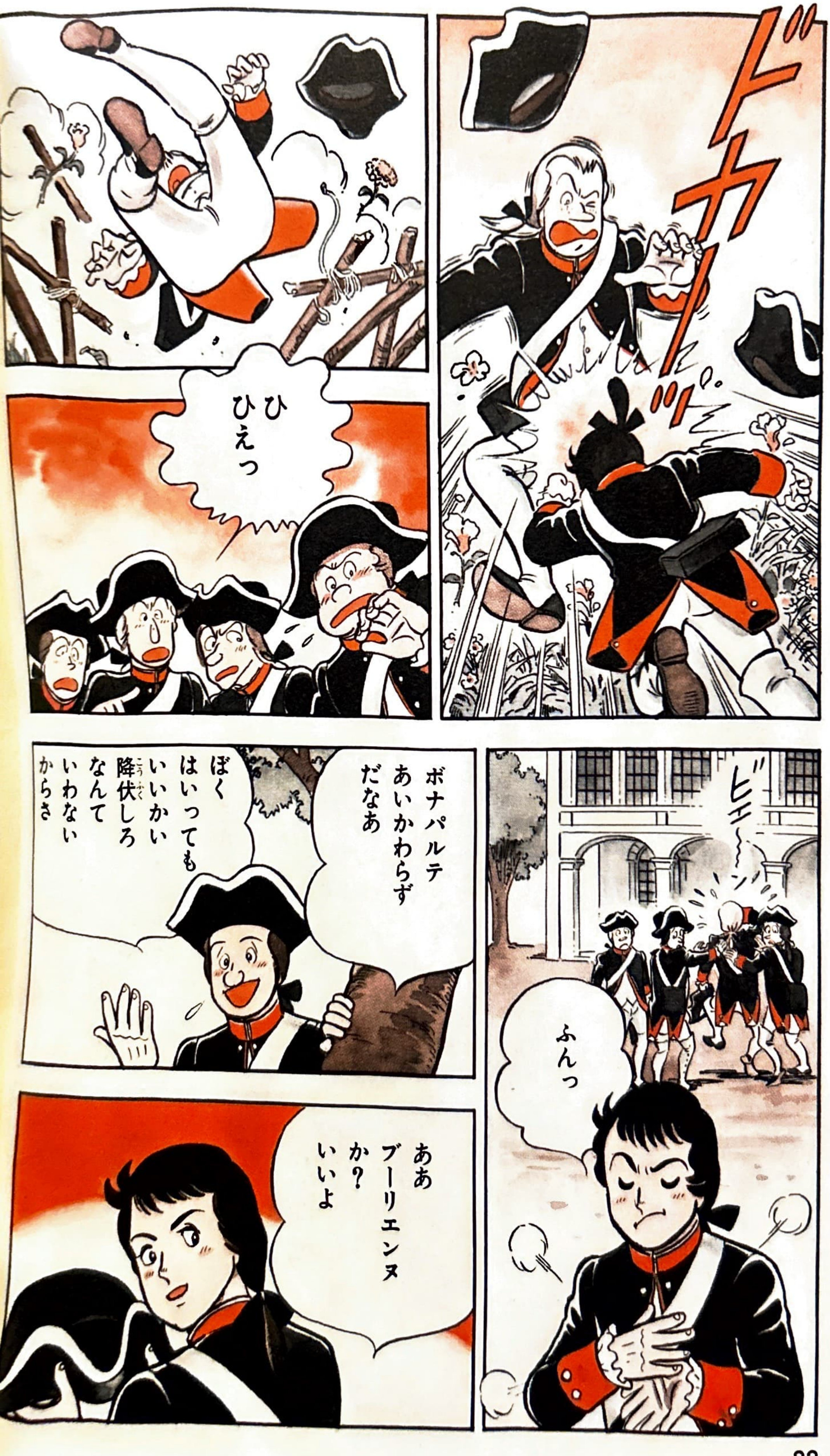


あいつ ラパイオーネ だってよ けっさく！
ギャははは‥
わらくず やろうだ
ふん ばかな やつらだ かってに わらってろ
こうして、幼年学校での生活がはじまりましたが――
カラ〜ン カラ〜ン
ああ ここに コルシカ という 小さな島が ある
一〇年前に わが フランスに こうふくした 島だが まだまだ 未開の島だ


ガタン
ちがうっ コルシカは すばらしい 島です！
な なんだね きみは？
みんなは コルシカが 島だから ばかにしてるが すばらしさを 知らないんだ
それに コルシカ人は 世界一 いさましいんだぞ！
世界一 いさましい のに なんで 負けたんだよ
ヒヒヒ
それは フランス軍が 大軍で せめてきた からだっ
でも いまにみてろ ぼくが 大きく なったら
かならず フランス軍に 勝って みせるぞ
な なんという 生徒だ


あの今度きたナポレオーネという生徒は
なまいきで人づきあいも悪いし
さようじつにあつかいにくい生徒ですなあ
しかし数学の成績だけはばつぐんなんですよね
ほかの課目はたいしたことはありませんがね
近ごろでは運動場のかたすみに小さな花だんをつくり
その中で本を読みふけってますよ
まったくなにを考えているのやら


ひそ ひそ
よお ナポレオーネ そのさくは なんの つもりだよ
ここは ぼくの 王国さ
王国 だって へええっ
なあるほど ちっぽけな コルシカ そっくりだな
いま 読書中なんだ じゃましないで くれないか
だまれ コルシカの わらくず やろう
だれに ことわって 王国を つくったんだ
フランス軍の おでましだ ただちに こうふくしろ!


ドカッ
ドッ
ひ
ひえっ
ビュ〜ン
ふんっ
ボナパルテ
あいかわらずだなあ
ぼく
はいっても
いいかい
降伏しろ
なんて
いわない
からさ
ああ
ブーリエンヌ
か？
いいよ



※『プルターク英雄伝』…プルタルコス（四六ごろ～一二〇ごろ）によって書かれた、ギリシア、ローマの英雄たちの伝記です。

※ローマ帝国…紀元前一世紀ころから、地中海のまわりを領土としてさかえた国です。



さみしくなんかないさ あんな連中どもと口もききたくないよ
やれやれ そんなに つんけんしてちゃ 友だちなんかできっこないなあ
それから四年がたってもナポレオンはあいかわらずひとりぼっちで、
幼年学校のきびしい生活にたえていました。
そんなある日のこと——
きょうから全校生徒に軍隊生活がどんなものかを体験してもらうぞ
そこでこれから各隊の隊長を指名する
まずひとりめはナポレオン・ボナパルト！


ええっ あいつが 隊長？
ナポレオンは いつも いばって いるので みんなから きらわれて います
ぼくたちは フランスを ばかにする コルシカ人の 命令なんか きけません！
ナポレオン・ボナパルトは 隊長に ふさわしく ありません
いつも いっている ことだが ぼくは ナポレオーネ・ボナパルテだっ
また あいつの つっぱりが はじまったぞ
ぼくもみんなに賛成 ぼくは隊長に ふさわしくありません 隊長はみんなから 信頼されなければ なりません ぼくにはできません！
へ… !?
ふふ 教官から しかられるぞ たのしみだな
あれれ きょうは やけに すなおじゃ ないか …


きみは軍人の勉強をするためにここへきているのだろう
みんなから信頼されるよう努力することがいま　きみのやるべき勉強じゃないのかね
……
……
まあいいだろう隊長にはほかの生徒を指名しよう
しかしいま　いったことをよく考えておきなさい　いいね！
はい！
それからしばらくして——
ああこの雪じゃ外で遊べないたいくつだなあ…
雪合戦をやらないか
雪でとりでをつくって二組にわかれて戦うんだ



ふうん
とりでを
つくって
雪合戦か
おもしろ
そうだな
やるか
ようし
そうと
決まれば
さっそく
二組に
わかれようぜ
ぼくが
いいだしたん
だから
一方の
隊長を
やらせて
くれないか
いいだろ？
ようし
そのへんで
先行部隊は
ひけえっ
とりでの部隊と
いっしょに
追ってきた
敵部隊を
攻撃
するんだ

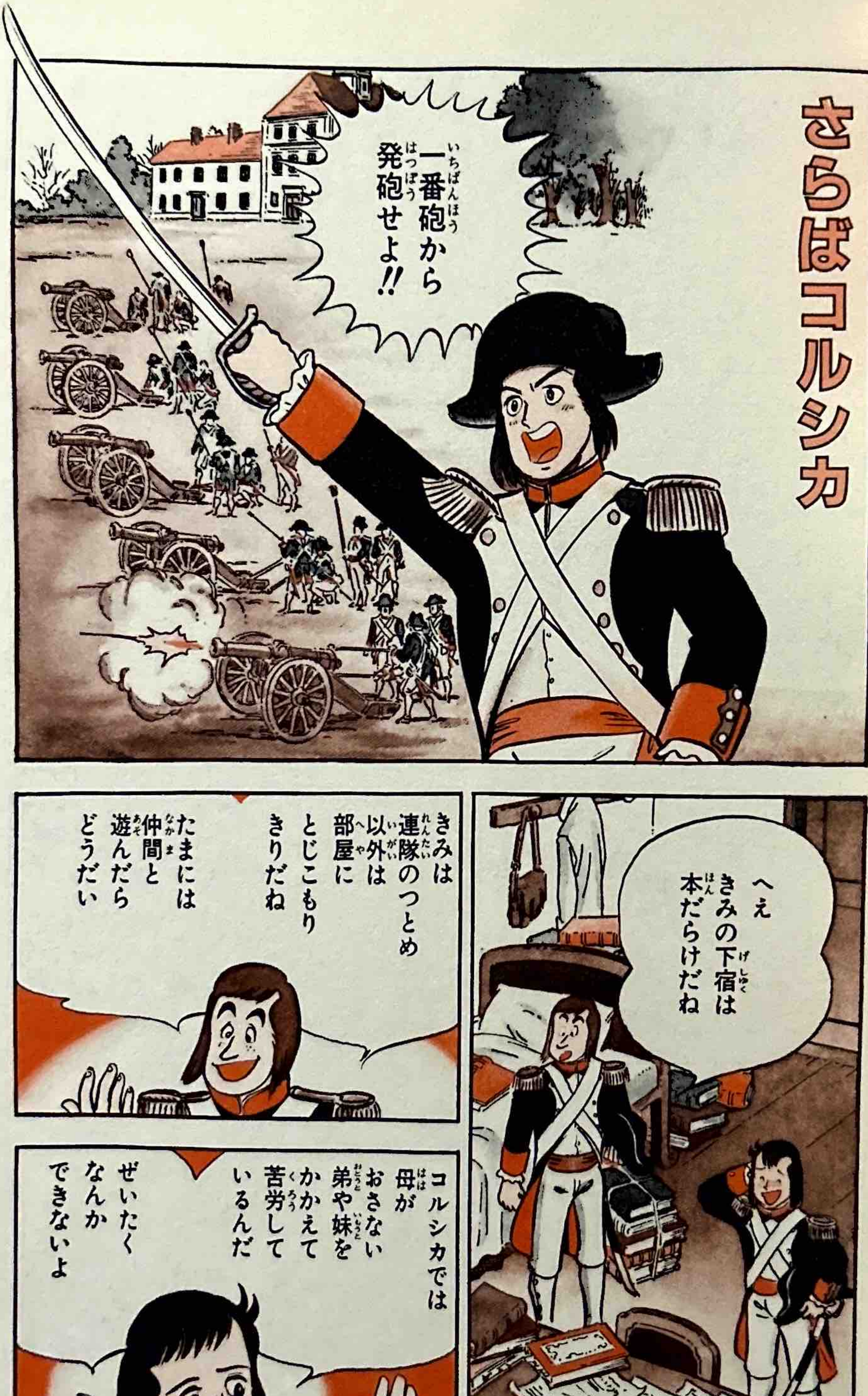


ごらんなさい 雪合戦は このところ 二週間も つづいて いますが
いつも 勝つのは あの ナポレオンの 指揮する 組です
ううむ みごとな 指揮だ
きょうも また 大勝利だぜ
連戦連勝! おまえの 指揮が いいからな!
きみを みなおしたよ
やっと わかった! 人から 信頼される ことの 大切さを…
一七八四年の秋になると ナポレオンは、テストをうけて パリの士官学校に 入学しました。


しかしその翌年、兄のジョゼフからナポレオンに悲しい知らせがとどきました。
とうさん…
ジョゼフよ ナポレオーネは どこだ
あ あの子の剣が… いつか…
とうさん…
いつか ヨーロッパを 統一するぞ ……
とうさんっ
一七八五年二月 ナポレオンの父カルロが 病気のために 三九歳の若さで この世を去ったのです。
かあさん とうさんの死で 気を おとさないで ください
ぼくたちは いままで以上に かあさんをいたわり 感謝の気持ちを ささげつづけ ます



そうだ！一日も早く一人前の軍人にならなくては！
ボナパルテ家のためにそしてコルシカのために！
その年の九月ナポレオンは、士官学校の卒業試験をうけました。そして――
ボナパルトやったなあみごとに合格だ
なあに五八人中の四二番めだからすれすれだよはははは
なにをいうふつうなら三〜四年もかかるところを
きみはたった一一か月で卒業できたんだ！りっぱなものさ！
まもなくナポレオンはバランスという町の陸軍砲兵連隊につとめることになりました。そのときナポレオンは一六歳でした。

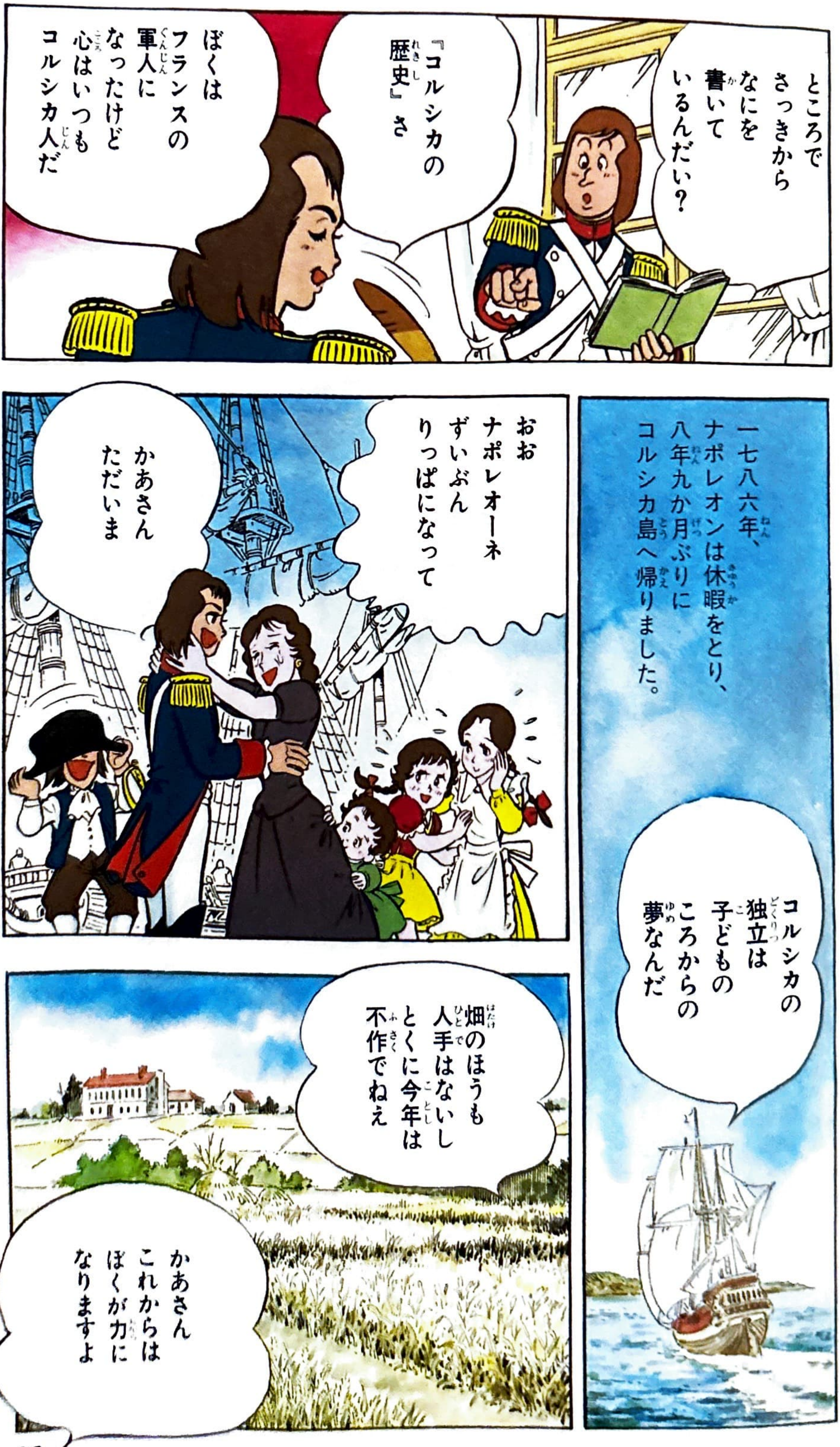

さらばコルシカ
一番砲から発砲せよ!!
へえ きみの下宿は本だらけだね
きみは連隊のつとめ以外は部屋にとじこもりきりだね
たまには仲間と遊んだらどうだい
コルシカでは母がおさない弟や妹をかかえて苦労しているんだ
ぜいたくなんかできないよ

※ゲーテ（一七四九～一八三二）…ドイツに生まれ、『若きウェルテルの悩み』『ファウスト』などの小説を発表しました。詩人としても有名です。いまでも世界じゅうの人びとに読まれています。





ゲーテ（一七四九～一八三二）…ドイツに生まれ、『若きウェルテルの悩み』『ファウスト』などの小説を発表しました。詩人としても有名です。いまでも世界じゅうの人びとに読まれています。


ところで さっきから なにを 書いて いるんだい?
『コルシカの 歴史』さ
ぼくは フランスの 軍人に なったけど 心はいつも コルシカ人だ
一七八六年、ナポレオンは休暇をとり、八年九か月ぶりにコルシカ島へ帰りました。
コルシカの 独立は 子どもの ころからの 夢なんだ
おお ナポレオーネ ずいぶん りっぱになって
かあさん ただいま
畑のほうも 人手はないし とくに今年は 不作でねえ
かあさん これからは ぼくが力に なりますよ

※ルイ一六世（一七五四〜一七九三）…ルイ一五世の孫で、一九歳のときフランス国王になりました。
※マリー・アントアネット（一七五五〜一七九三）…オーストリアの女帝マリア・テレジアの娘で、一四歳でルイ一六世と結婚しました。





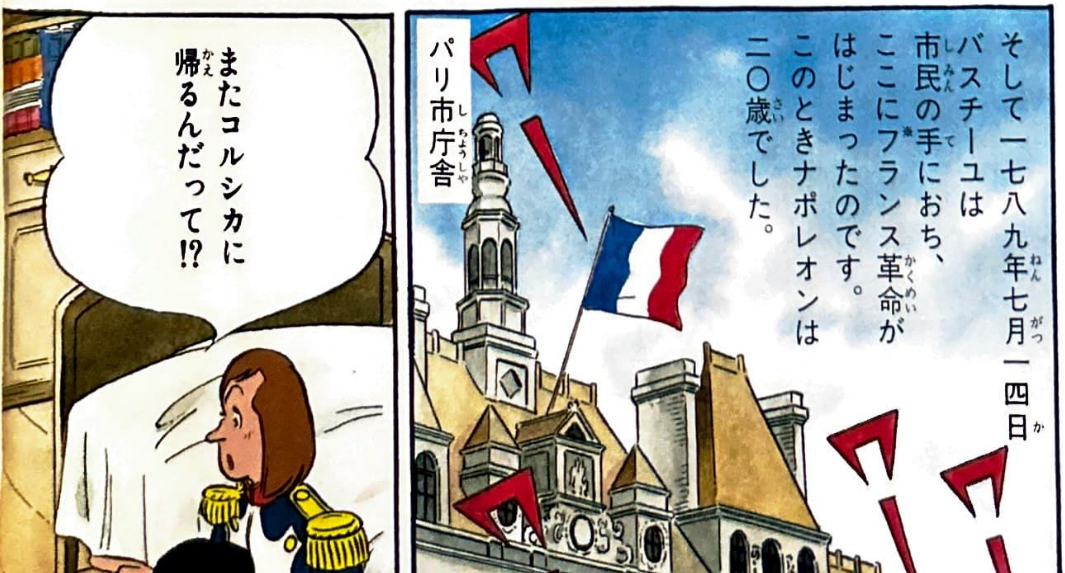


※シエイエス（一七四八～一八三六）…僧出身の政治家です。





※バスチーユ、フランス革命、共和国については、38～39ページをみてください。




こうして多くの市民が
バスチーユ牢獄に
おしよせました。
バスチーユは
フランス国民を苦しめる
絶対王政のシンボルだったのです。
ああ
国民議会が
コルシカの独立を
みとめたんでね
コルシカは
「これから
独立した州として
フランス共和国に
加える」ってね
ふうん
きみは
フランス革命よりも
コルシカの
独立のほうが
大事件なんだね

※バスチーユ…もとはイギリス軍からパリを守るとりでとしてつくられ、ルイ一三世のとき牢獄になり、王政に反対する人が多く収容されました。この襲撃事件がもとになり、各地で反乱がおこり、フランス革命がはじまりました。※フランス革命…それまでの国王や貴族中心、



心の政治や社会のしくみを、人間はすべて平等であるという考えをもとに、民衆が政治に参加できるように、あらためられたことをいいます。
※共和国：国王や貴族が政治をするのではなく、民衆が議会を開き、自分たちの手で政治をおこなう国のことです。

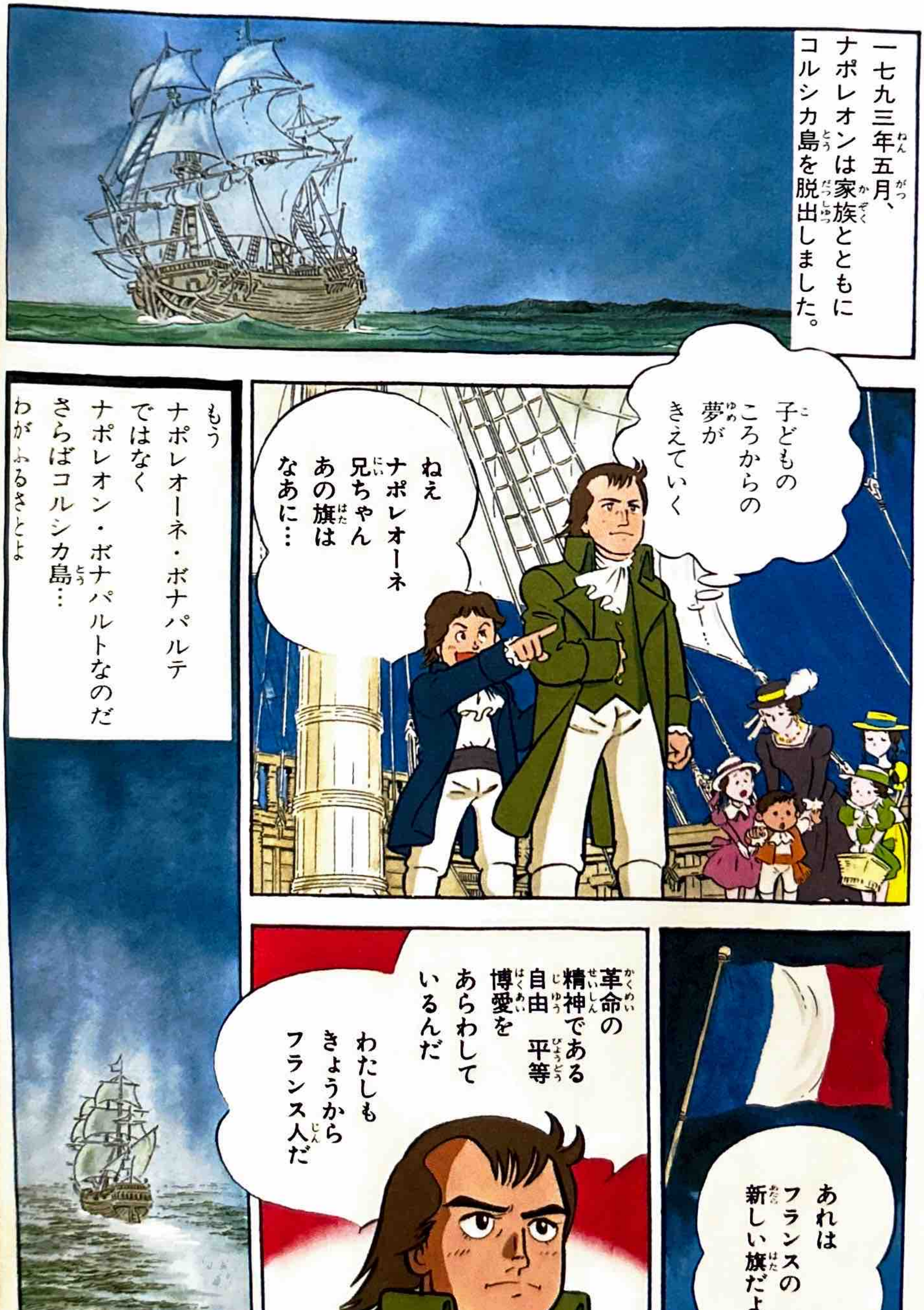



とうさんがフランスにしたがったのが気にいらないのかしら
ぼくらのあこがれの人だったのにざんねんだ
しかしがっかりしているひまはない
ジョゼフ兄さんにはコルシカの州議会議員に立候補してもらうよ
おれが？それでおまえは？
ぼくはフランス軍人としての仕事があるからねいつまでも島にはいられない
しかし兄のジョゼフは落選してしまいました。一七九三年、コルシカにもどっていたナポレオンのもとに――
たいへんだフランス国王ルイ一六世が処刑されてしまったぞ
兄さんそれはほんとうか！


一月、フランス国王はパリの革命広場で処刑されたのでした。
やはりフランスの国民議会は信用できん！
コルシカのパオリ
これで革命政府ができるのをおそれるヨーロッパのほかの国ぐにはフランスの国民議会をつぶしにかかるでしょう
いまこそフランスと手をきりコルシカはイギリスと手をむすぶべきでしょう！
うむ そのまえに
このコルシカで一番のフランスかぶれのボナパルテ家をなんとかしなければ

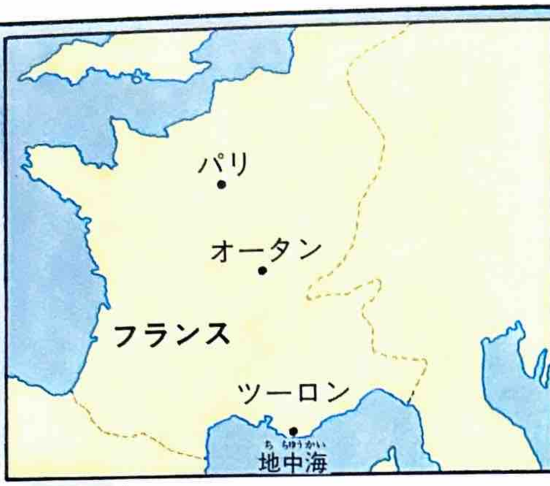

このころ
ナポレオンと同じ
幼年学校を出た
弟のリュシアンが、
政治家をめざして
フランスにいました。
パオリはフランスにそむきコルシカの王になろうとしています
ただちにパオリを逮捕すべきです
リュシアン・ボナパルテ
リュシアンは、
ナポレオンにないしょで
フランス政府に
パオリをうったえました。
そしてこのことを手紙に書いて
ボナパルテ家に送りました。
いっぽう、
コルシカ議会へも
フランス政府から
パオリの逮捕命令が
出されたことを
知らせる手紙が
とどいたのでした。
うう ボナパルテめっ
パオリをフランスにわたすな
おれたちコルシカ人の英雄パオリを守れ
ワー

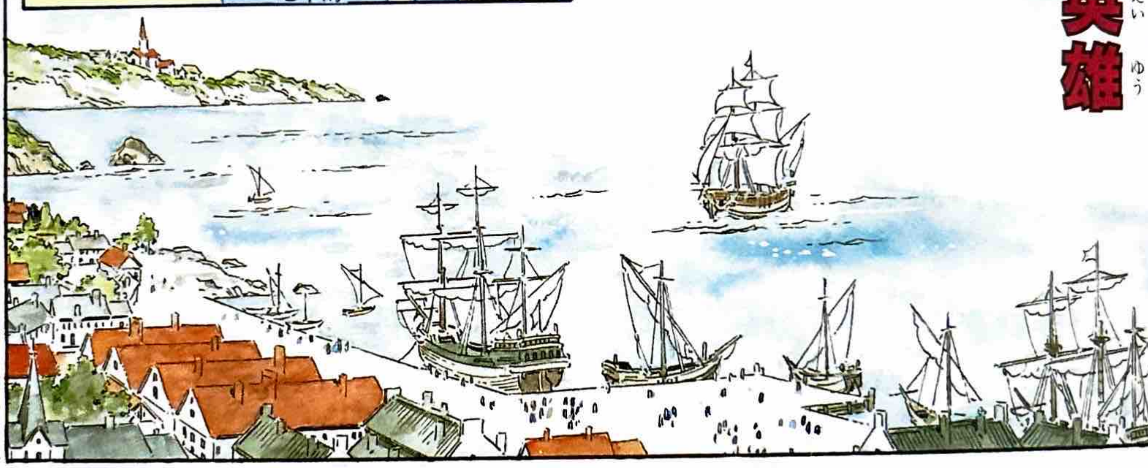

すべては フランス かぶれの ボナパルテ家の しわざだ
ナポレオーネは この近くに いるぞ! すぐに つかまえるのだ
なんという ことだ 愛した コルシカの 人びとから 追われる ことになるとは
やっとのことで フランス船に のがれたナポレオンは——
このままでは 家族も あぶない…
危険です かあさん 脱出の用意をしておいてください この国は もうわたしたちの愛する国ではなくなったのです
コルシカの 英雄を フランスに 売った うらぎり者
ボナパルテ家を みなごろしに しろ!


一七九三年五月、ナポレオンは家族とともにコルシカ島を脱出しました。
子どものころからの夢がきえていく
ねえナポレオーネ兄ちゃんあの旗はなあに…
もうナポレオーネ・ボナパルテではなくナポレオン・ボナパルトなのださらばコルシカ島…わがふるさとよ
あれはフランスの新しい旗だよ
革命の精神である自由平等博愛をあらわしているんだ
わたしもきょうからフランス人だ

ツーロンの英雄

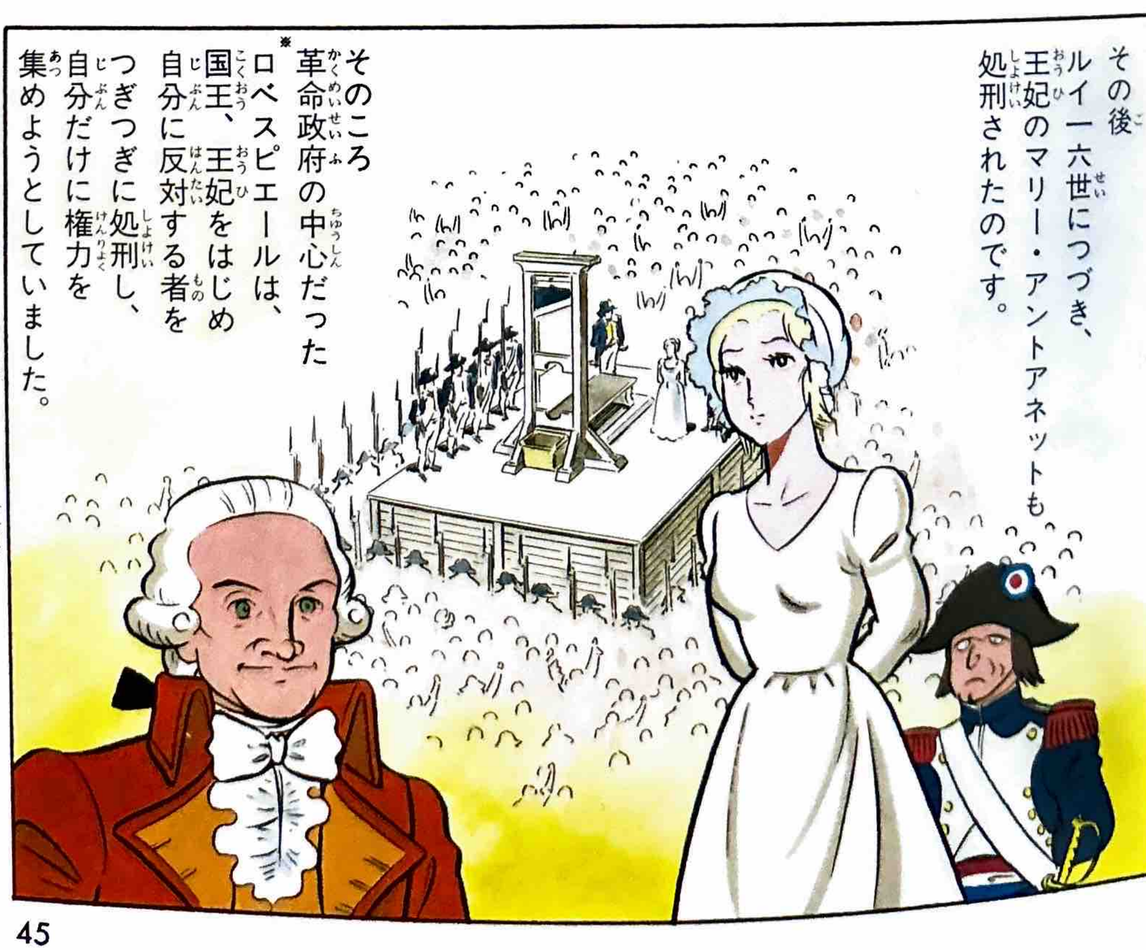
コルシカ島をにげだした
ボナパルト一家は、
六月、
フランスのツーロンの
町はずれに住み、
ナポレオンは
砲兵連隊にもどりました。





その後
ルイ一六世につづき、
王妃のマリー・アントアネットも
処刑されたのです。

そのころ
革命政府の中心だった
※ロベスピエールは、
国王、王妃をはじめ
自分に反対する者を
つぎつぎに処刑し、
自分だけに権力を
集めようとしていました。



※ロベスピエール（一七五八～一七九四）…弁護士出身の革命政治家です。ジャコバン派の指導者になり、権力をひとりじめしたあとは、反対する人をすべて死刑にする恐怖政治をおしすすめました。



※ジャコバン派…おもに市民や農民が支持しました。その指導者がロベスピエールでした。

※ジロンド派…おもに大商人や資本家が支持しました。ジャコバン派と共和政治をめざしましたが、その方法で対立するようになりました。


そのころフランスは、国内では反乱、国外ではイギリスやオーストリアなどからの圧力になやまされ、革命政府のきそをかためるひまもありませんでした。
フランスでの革命がヨーロッパにひろがってはたいへんだ なんとか革命政府をつぶさねば
イギリス
プロシア
フランス
ロシア
ツーロン
オーストリア
スペイン
革命政府はなにをいつまでやっているんだ
これでは国内はもちろん国外も不安だらけじゃないか
そんなある日のこと――
ええっ わたしをツーロンの砲兵隊長に?



きみも知っているだろう王政の復活をしようとしている連中が
イギリスとスペインの力をかりてツーロンをせんりょうしてしまっていることを
そこですぐれた人をさがしていたところきみの名まえがうかんだというわけだ
ツーロンのわが軍は苦戦しているぜひともひきうけてほしい
わかりました！
ツーロンについたナポレオンは――
ドドドーン
ドドドーン


で きみの作戦は？
このころツーロン攻撃の総司令官をしていた将軍は、もともとは軍人ではなく画家でした。
まず このみさきにある とりでを うばいかえし
ここに大砲をならべ
この真下にいるイギリス艦隊を砲撃します
あっはっは ばかばかしい まるで子どもの戦争ごっこではないか
ドオオーー

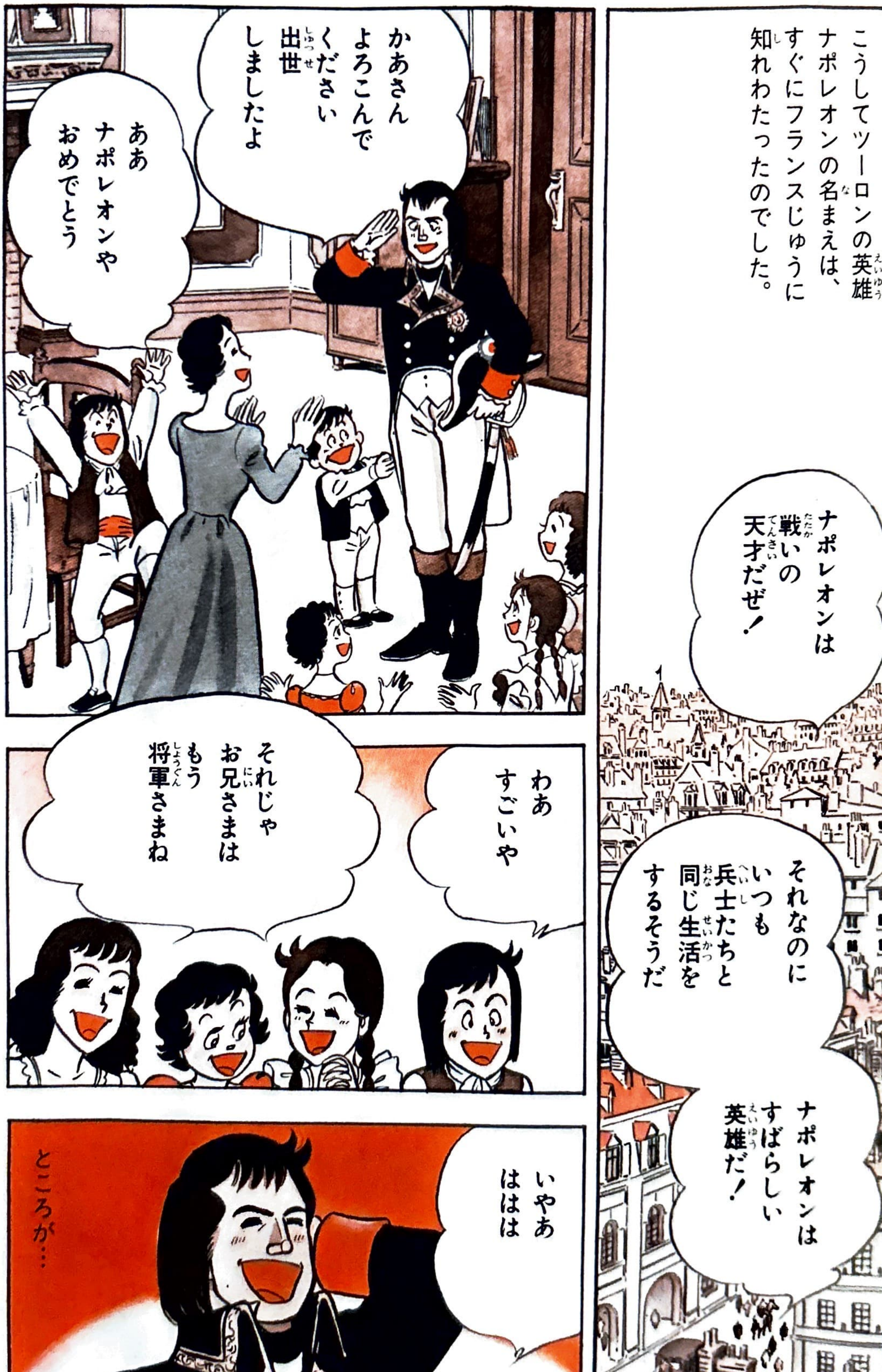

どっちの作戦がばかばかしいかわかっていない
こんな砲撃をいくらくりかえしてもだめだ
このころフランス国内では内乱のためすぐれた指揮官が不足していたのです。
まあこれ以上敵がせめてこないように砲撃をとりあえずつづけていなさい
やれやれ絵かきのつぎは医者かよう
これじゃ勝てっこねえよな
ぼやいてばかりいても勝てんぞそれ丸太をよこせ


それっ もう ひといきだ ひけっ ひけっ
動いたら すぐ 車の下に 石を いれろ!
おいみろよ あれは 隊長じゃ ないか
わかい 隊長だから 内心ばかに してたけど
ほんとだ いままでの 隊長じゃ とても 考えられ ないことだぜ
このころ士官などの位はお金持ちが買いとり戦場にはいないことが多かったのです。そのためナポレオンのように隊長と兵士がいっしょに生活をするのはめずらしいことでした。
ううむ… いつまで こんなことを つづけて いなければ ならんのだ
わたしの 作戦なら きっと 勝てるのに…

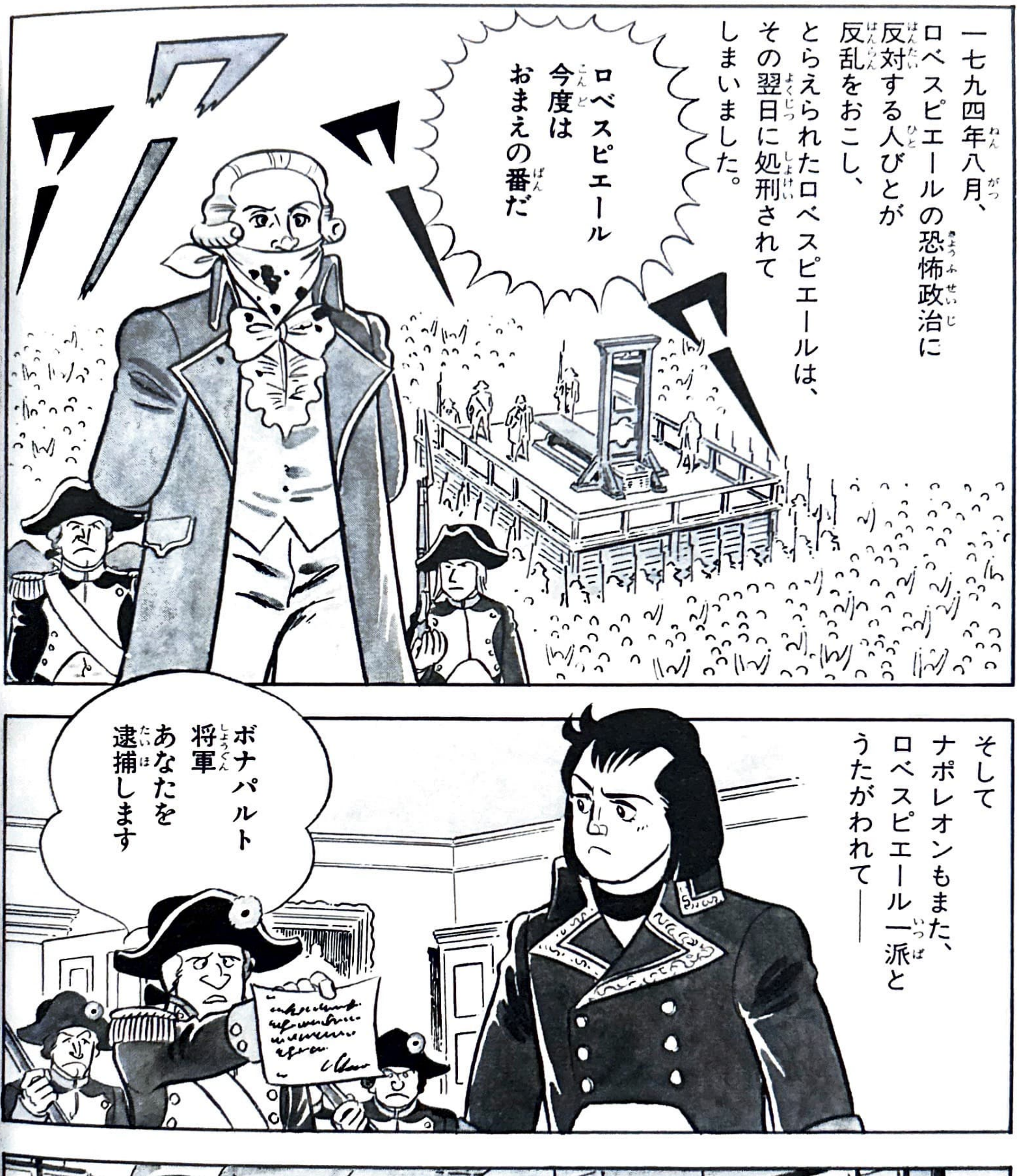

そしてまた総司令官がかわりました。今度はほんとうの軍人でした。
うん よかろう きみの作戦でいこう ただちに実行してくれたまえ
はいっ
うて うてえっ
まず あのみさきのとりでをおとすのだ うてえっ
ナポレオンはたちまち、みさきのとりでをうばいかえし、そこに大砲をならべました。そして——
目標は下のイギリス艦隊だ 砲撃開始！


うわわあっ
丘の上からの砲撃だあっ
こ これでは艦隊から反撃できない にげろっ
わはは どんどん うて おもしろいように命中するぞ
いい きみだ イギリス艦隊め

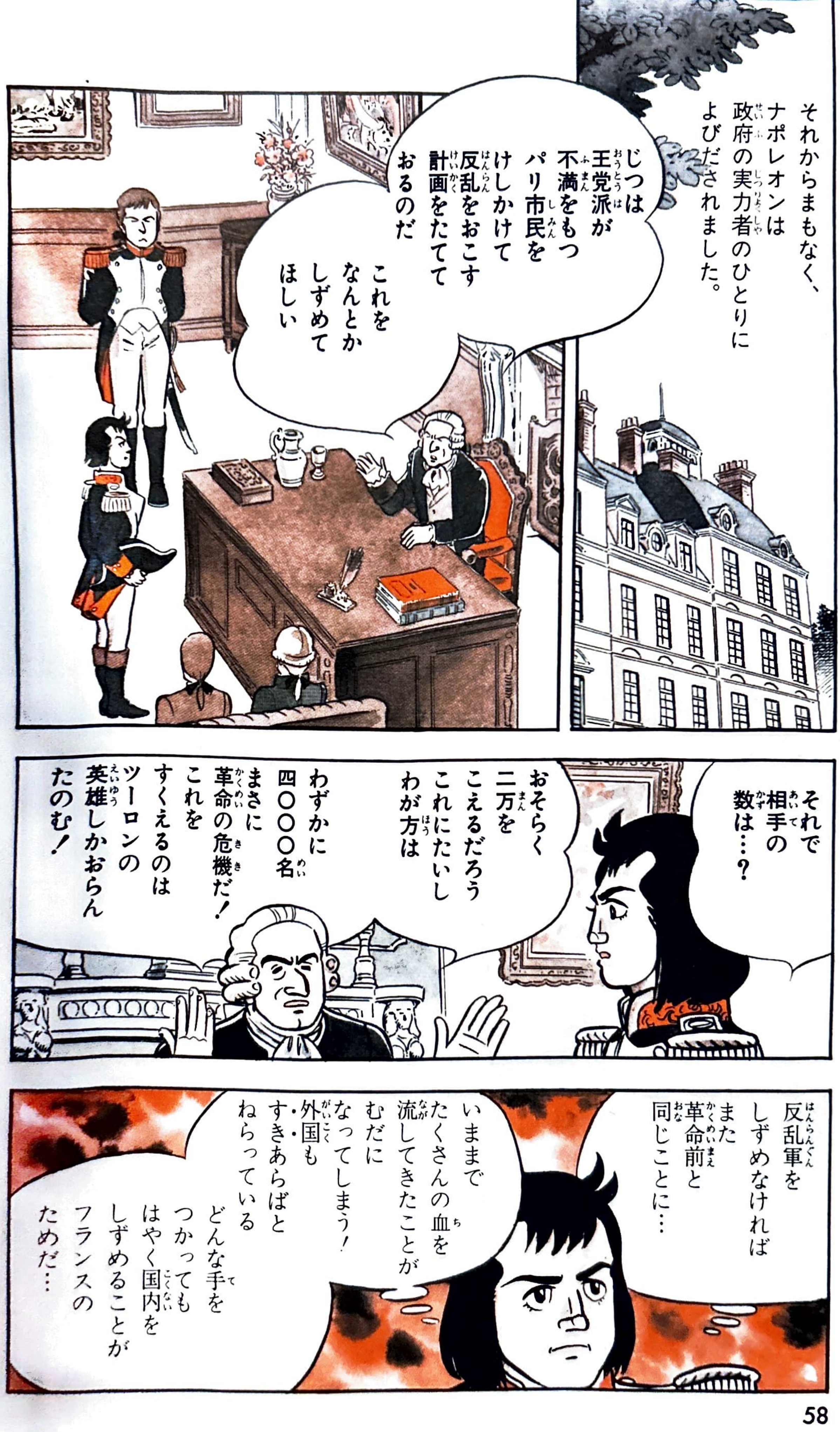

イギリス艦隊は
大混乱におちいり、
ツーロンはあっけなく
フランスにもどりました。
こういう人の命令なら死んでもかまわないどこまでもついていくぜ
ナポレオンはだれも攻めおとせなかったツーロンをあっというまにおとしたそうだ
いまのフランスではすぐれた軍人がひとりでも多くほしい
これほどの軍人を一部隊の隊長にしておくのはもったいないとは思わないかね



こうしてツーロンの英雄ナポレオンの名まえは、すぐにフランスじゅうに知れわたったのでした。
ナポレオンは戦いの天才だぜ！
それなのにいつも兵士たちと同じ生活をするそうだ
ナポレオンはすばらしい英雄だ！
かあさんよろこんでください出世しましたよ
ああナポレオンやおめでとう
わあすごいや
それじゃお兄さまはもう将軍さまね
いやあははは
ところが…


一七九四年八月、
ロベスピエールの恐怖政治に
反対する人びとが
反乱をおこし、
とらえられたロベスピエールは、
その翌日に処刑されて
しまいました。
ロベスピエール
今度は
おまえの番だ
そして
ナポレオンもまた、
ロベスピエール一派と
うたがわれて——
ボナパルト
将軍
あなたを
逮捕します

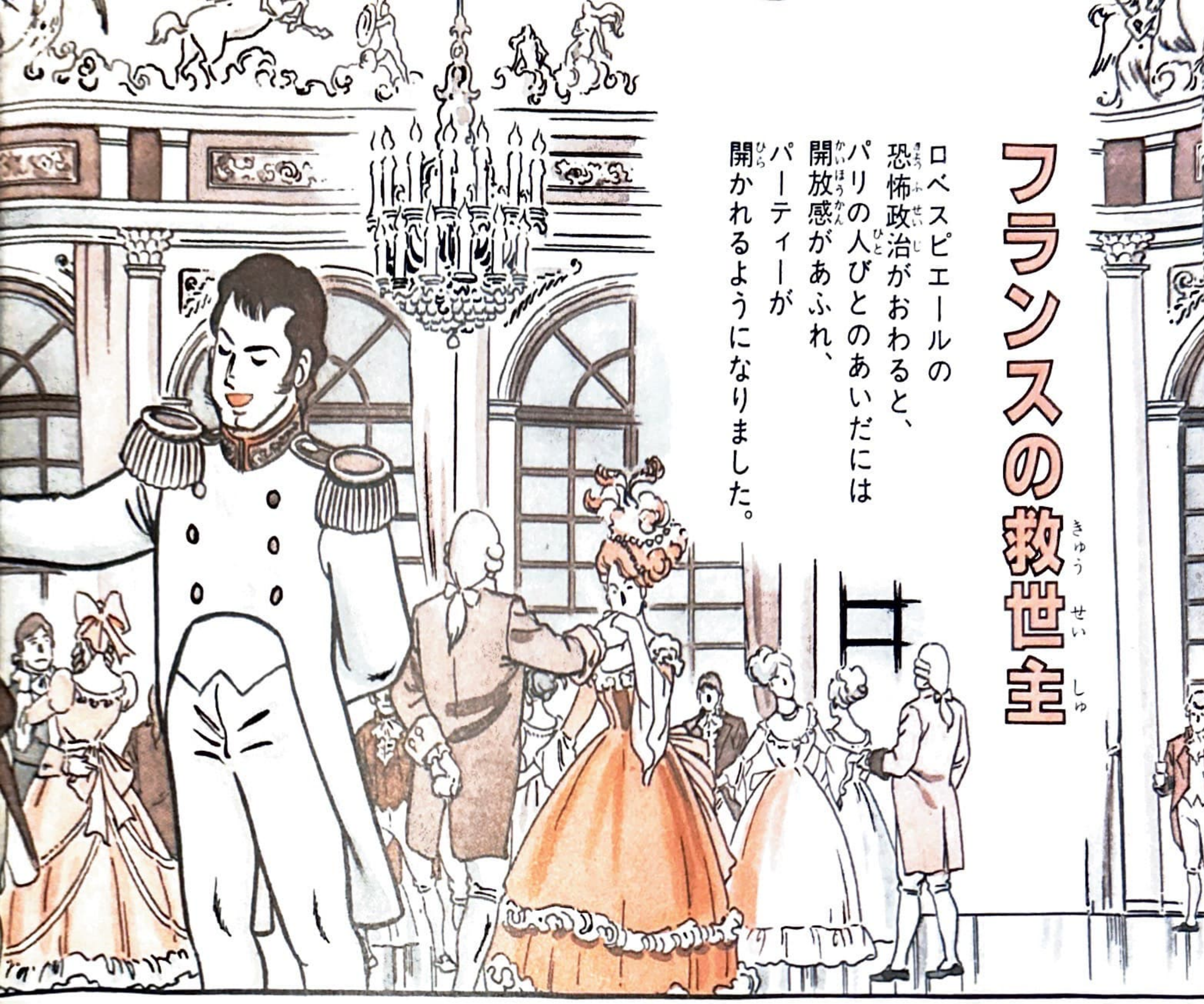

ボナパルト将軍！
ボナパルト将軍 わたしたちはあなたを尊敬する者です
わたしたちが手配いたします にげてください
ありがとう わたしはなにもまちがったことはしていない
どうか心配しないでくれたまえ
ナポレオンは一〇日後自由になりましたが、砲兵隊をやめさせられてしまいました。


それからまもなく、ナポレオンは政府の実力者のひとりによびだされました。
じつは王党派が不満をもつパリ市民をけしかけて反乱をおこす計画をたてておるのだ
これをなんとかしずめてほしい
それで相手の数は…?
おそらく二万をこえるだろう これにたいしわが方はわずかに四〇〇〇名 まさに革命の危機だ! これをすくえるのはツーロンの英雄しかおらん たのむ!
反乱軍をしずめなければまた革命前と同じことに…
いままでたくさんの血を流してきたことがむだになってしまう! 外国もすきあらばとねらっている
どんな手をつかってもはやく国内をしずめることがフランスのためだ…


そして一七九五年一〇月――
ワー
ワー
ワー
議会をおそえ
議会をのっとりもう一度革命のやりなおしだ!
あ あれをみろ!
政府側は大砲を…


ま　まさか　こんな町なかで砲撃など…
砲撃用意
うて！

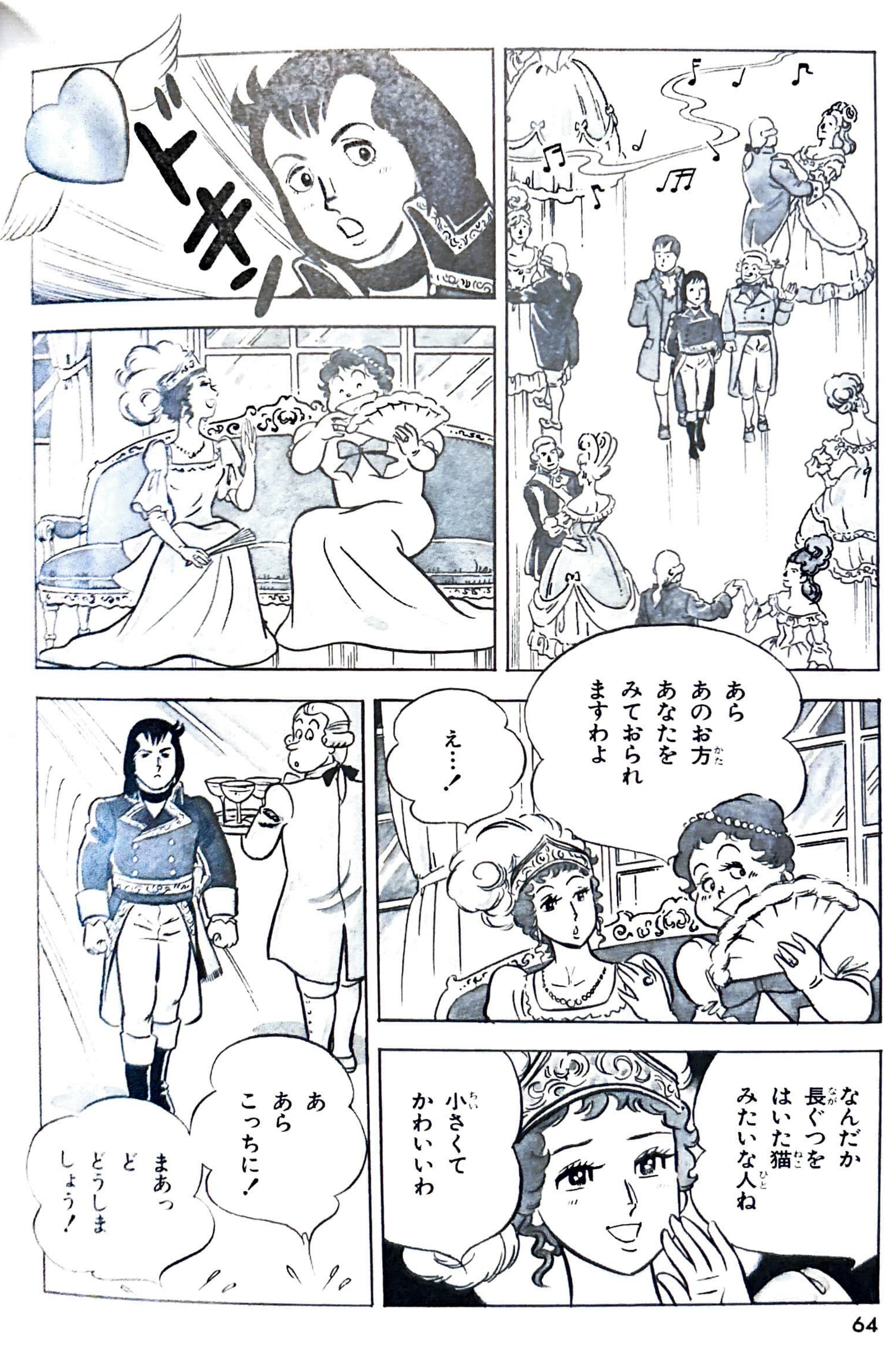

お
おじけづくな
ただの
おどしだ！
進め！
ナポレオンの指揮する政府軍に、反乱軍はあっというまにしずめられてしまいました。
わあっ！
うわあっ！
それから
まもない一〇月二八日、新政府がつくられました。
そしてナポレオンは二六歳で国内軍の最高司令官になったのです。


フランスの救世主
ロベスピエールの恐怖政治がおわると、パリの人びとのあいだには開放感があふれ、パーティーが開かれるようになりました。


新政府もまだ不安定だというのにいい気なものだな
市民が反発するのもむりはない
まあいいじゃないか
こんなパーティーに招待される身分になったことをよろこべよ

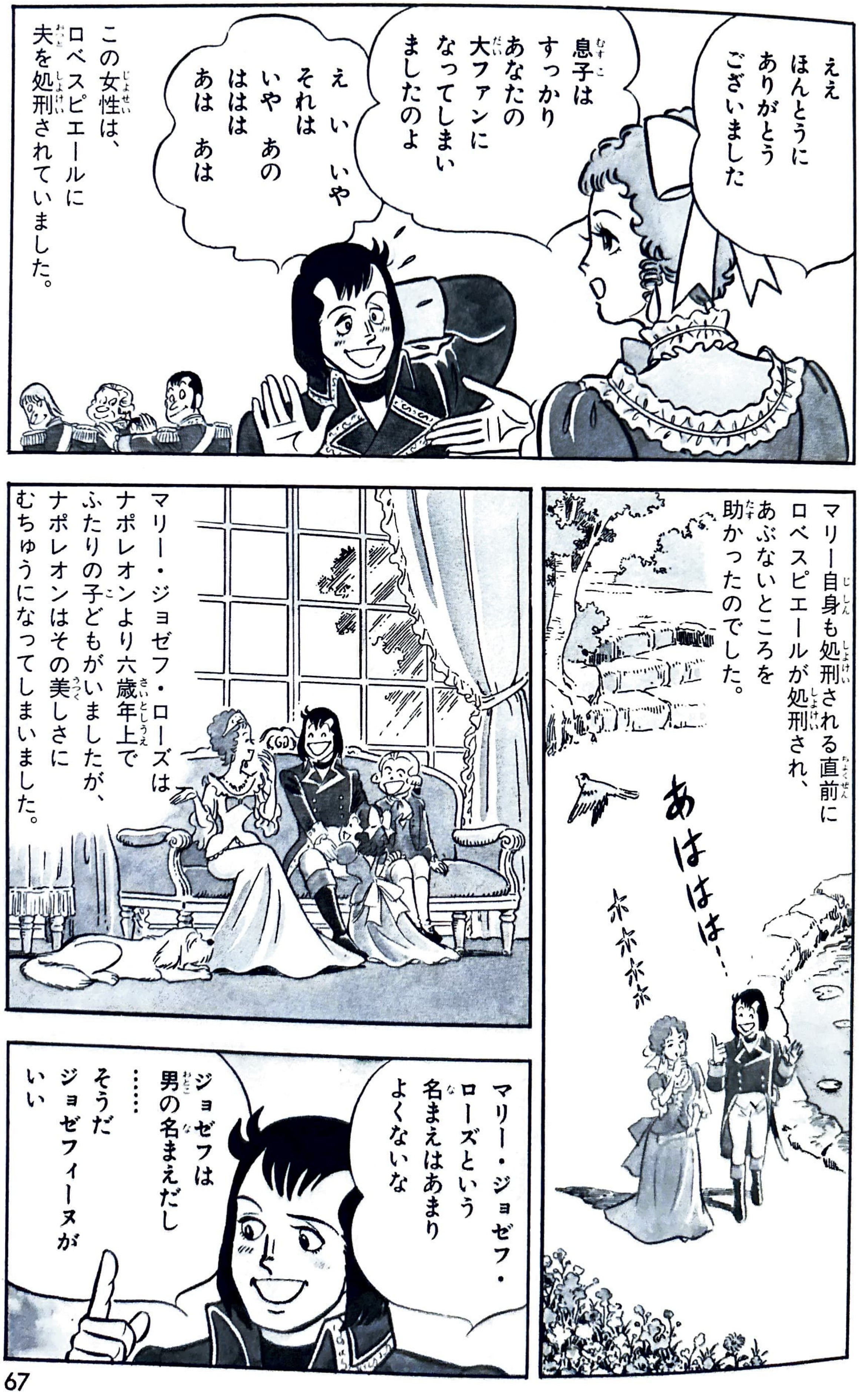


おお
よくきて
くれたな
みなさん
国民議会の
危機を
すくってくれた
ナポレオン・
ボナパルト
将軍ですぞ！
おお
ボナパルト
将軍！
ヒソヒソ
まあ
あの方が
有名な
…
ヒソヒソ
ザワザワ
ヒソヒソ

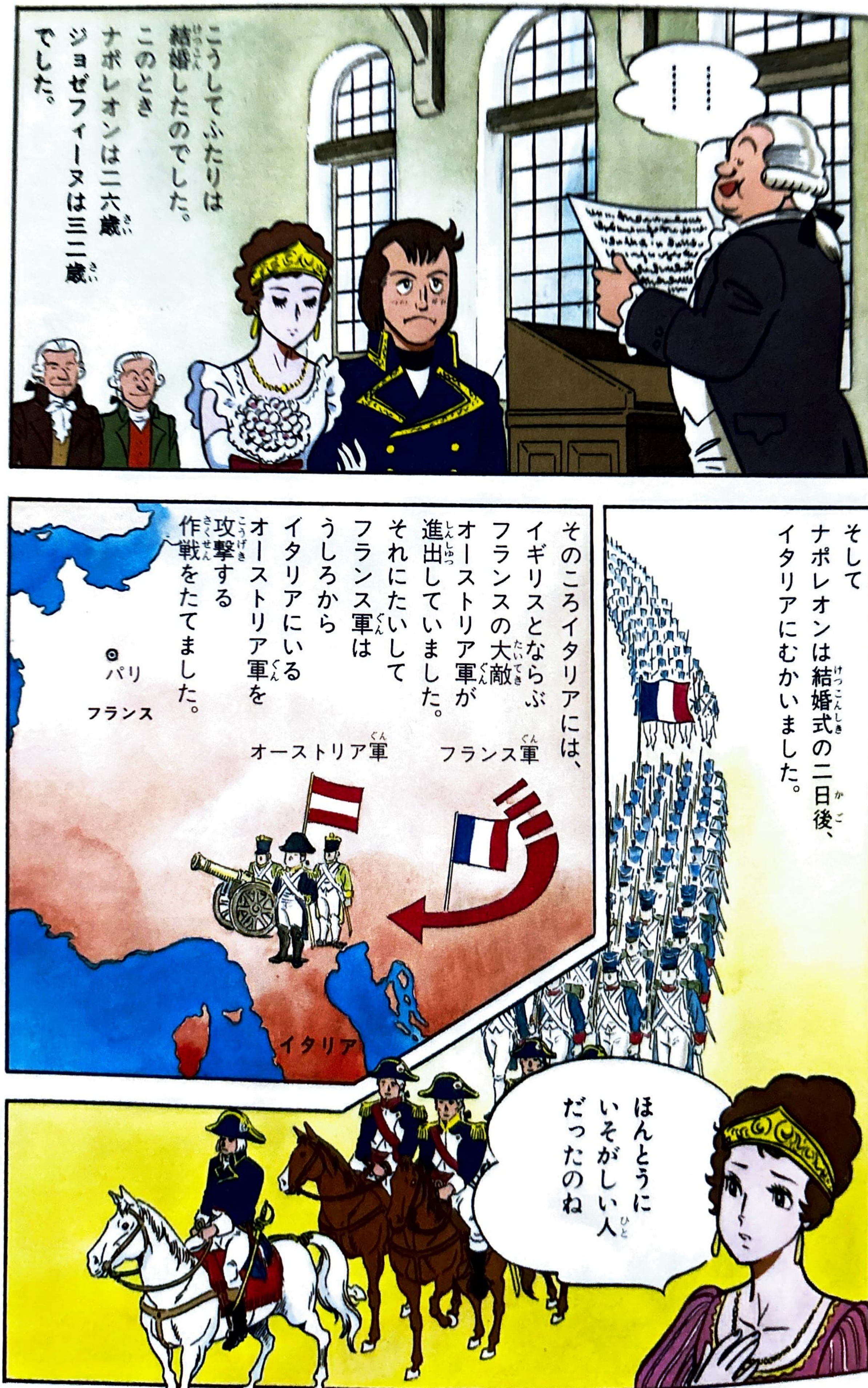

ドキン
あら あのお方 あなたを みておられ ますわよ
え…!
あ あら こっちに!
まあっ ど どうしま しょう!
なんだか 長ぐつを はいた猫 みたいな人ね
小さくて かわいいわ


あう あ あ あなたの お お名まえは…？
はい わたくし マリー・ジョゼフ・ローズと もうします
な なんと 美しい人だ…
この世に こんな 美しい 女性が いたとは…
それからまもなく、ナポレオンのもとに ひとりの少年が たずねてきました。
おねがいです その剣を とりあげないで ください！ これはだいじな 剣なんです！
ふうむ しかし 先日の反乱のあと 市民からは武器を とりあげることに なったんだよ


わかっています! でも でも これは なくなった父の思い出の剣なんです
どうしてもだめなら ぼくを殺して とりあげてください!
ふうむ… こまったねえ
よしよし わかった とくべつにゆるそう
これは武器ではなく 父上のかたみだ もって帰りたまえ
ありがとうございます 将軍のこと世界一大すきになりました
その翌日——
ええっ きのうのあの少年の母親?
マリー・ジョゼフ・ローズ あなたが母親…


ええ ほんとうに ありがとう ございました
息子は すっかり あなたの 大ファンに なってしまいましたのよ
え いいや それは いや あの ははは あは あは
この女性は、ロベスピエールに夫を処刑されていました。
マリー自身も処刑される直前にロベスピエールが処刑され、あぶないところを助かったのでした。
あははは…
マリー・ジョゼフ・ローズはナポレオンより六歳年上でふたりの子どもがいましたが、ナポレオンはその美しさにむちゅうになってしまいました。
マリー・ジョゼフ・ローズという 名まえはあまり よくないな
ジョゼフは 男の名まえだし ……
そうだ ジョゼフィーヌが いい


そして一七九六年三月ここはパリの役所――
花むこはまだかおそいなあ
みんなそろっているのにもう二時間もすぎた
よく考えて結婚を決めたけど
ああほんとうにこれでよかったのかしら…
バタン
やあおまたせした
さあさあはやくわれわれを結婚させてくれたまえわたしはいそがしいのだ
ドドドド


……
こうしてふたりは
結婚したのでした。
このとき
ナポレオンは二六歳
ジョゼフィーヌは三二歳
でした。
そして
ナポレオンは結婚式の二日後、
イタリアにむかいました。
そのころイタリアには、
イギリスとならぶ
フランスの大敵
オーストリア軍が
進出していました。
それにたいして
フランス軍は
うしろから
イタリアにいる
オーストリア軍を
攻撃する
作戦をたてました。
フランス軍
オーストリア軍
パリ
フランス
イタリア
ほんとうに
いそがしい人
だったのね


しかし フランス軍は 食べるものもすくなく 苦しんでいました。
諸君はいま 着るものもなく 食べ物も 不足している！ わたしはこれから 諸君を世界一 豊かな土地へつれて いこうと 思う！
そこで 諸君たちは 名誉と栄光と 豊かな富を 手にいれる ことができる だろう！
えらく はりきった 司令官が やってきた なあ
政府は いままで まんぞくに 給料もはらって くれなかった けど
今度の 司令官は ちょくせつ 話しかけて くれたし
それに なんと いっても あの司令官 ナポレオンは
実績の ある 司令官だ なんとなく 希望が わいてきたぞ！

フランス軍は、
アルプスの南側にそって進み、
つぎつぎに敵をやぶりました。
勝ちほこったフランス軍は、
ロディという町でポー川をはさんで
オーストリア軍と対決しました。





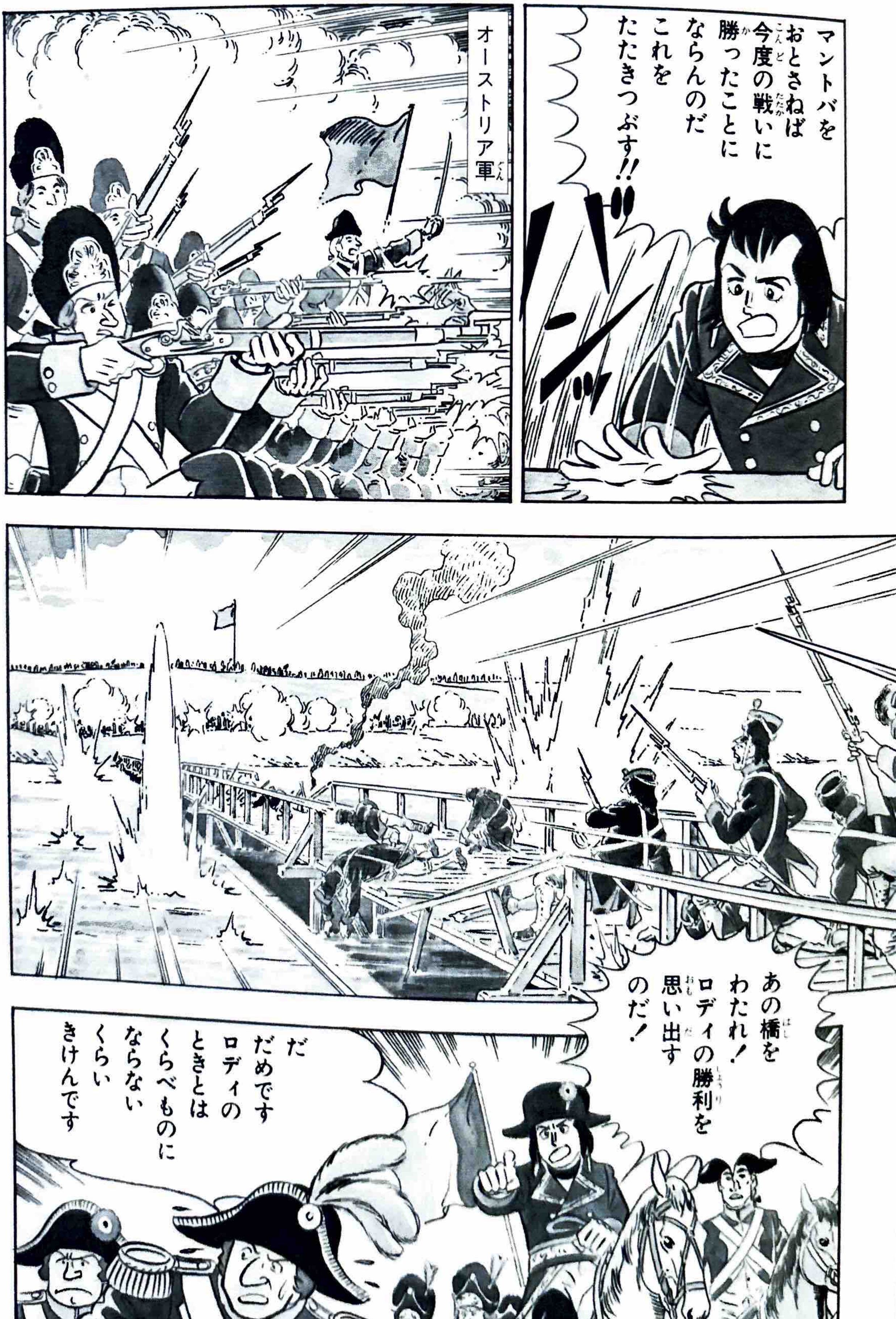




進め
進めえっ
われにつづけ！
えっ
あ
あれは！
ああ
あれは
司令官！
司令官が
先頭に
たつなんて
信じられん
進め
進めえっ
オーストリア軍を
けちらせえっ！
ぼさっと
してないで
司令官の
あとに
つづけ
司令官を
みごろしに
するなっ！


オーストリア軍をうちやぶったフランス軍は、五月、イタリアの大都市ミラノにはいりました。


このときナポレオンは、オーストリアの支配から解放してくれた英雄として、ミラノ市民の大かんげいをうけたのでした。
いっぽうミラノを追われたオーストリア軍は、ミラノから約一五キロメートルはなれたマントバのとりでに陣をしきました。
ぐわっ！


マントバを
おとさねば
今度の戦いに
勝ったことに
ならんのだ
これを
たたきつぶす!!
オーストリア軍
あの橋を
わたれ!
ロディの勝利を
思い出す
のだ!
だ
だめです
ロディの
ときとは
くらべものに
ならない
くらい
きけんです

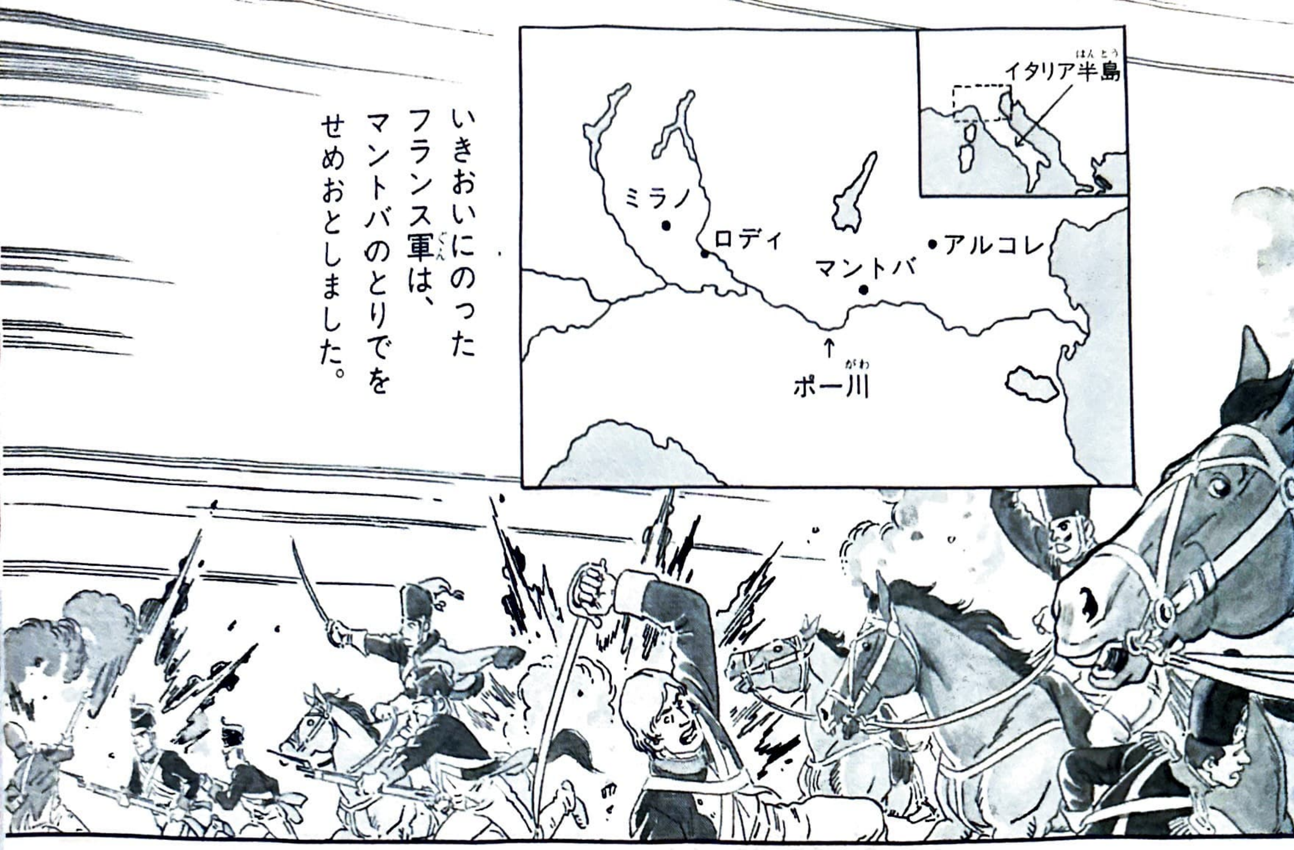

なにを
いうか
ええい
どけっ！
みんな
軍旗に
つづけえっ
みんな
ひるむなっ
司令官を
みよ！
進め
司令官に
おくれを
とるなっ！
司令官に
つづけっ！
司令官を
戦死させたら
おれたち
いや
フランスの
はじだぞっ

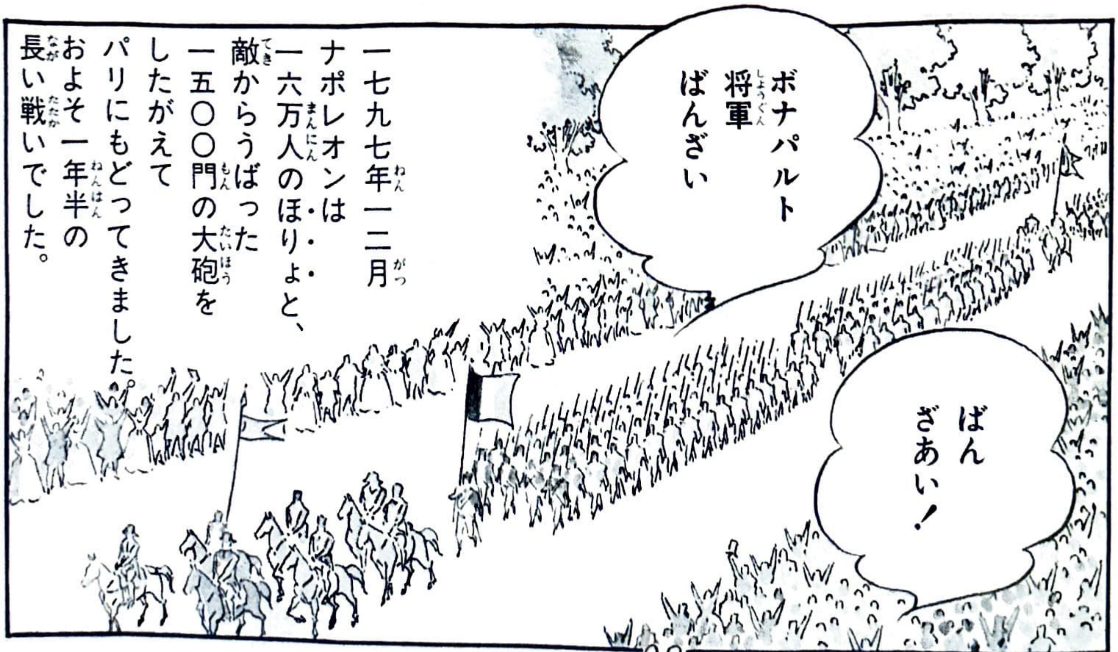


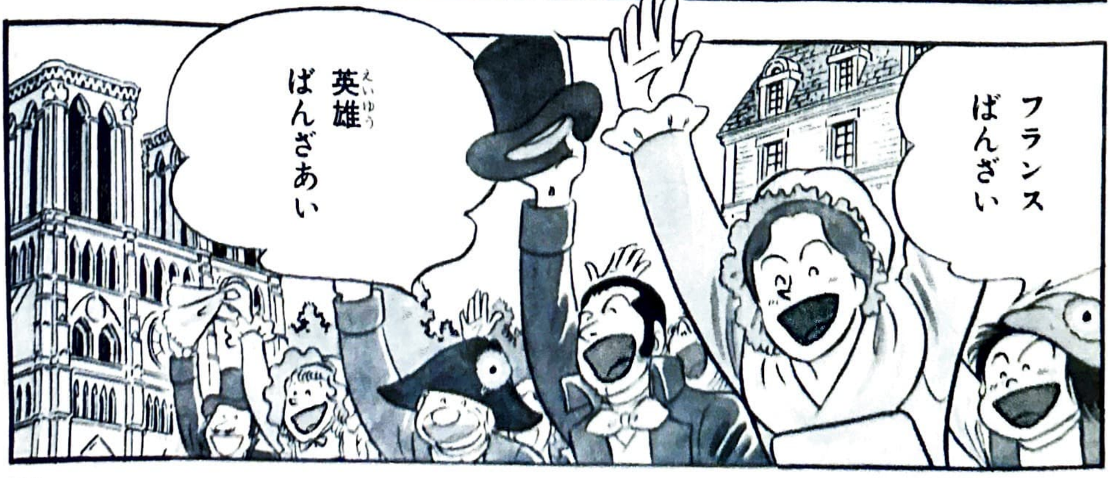
うわっ！
ああっ司令官がっ！
し司令…
進め進めえっ攻撃をゆるめるなあっ！
おおっわれらの司令官は不死身だぞ進めっ！



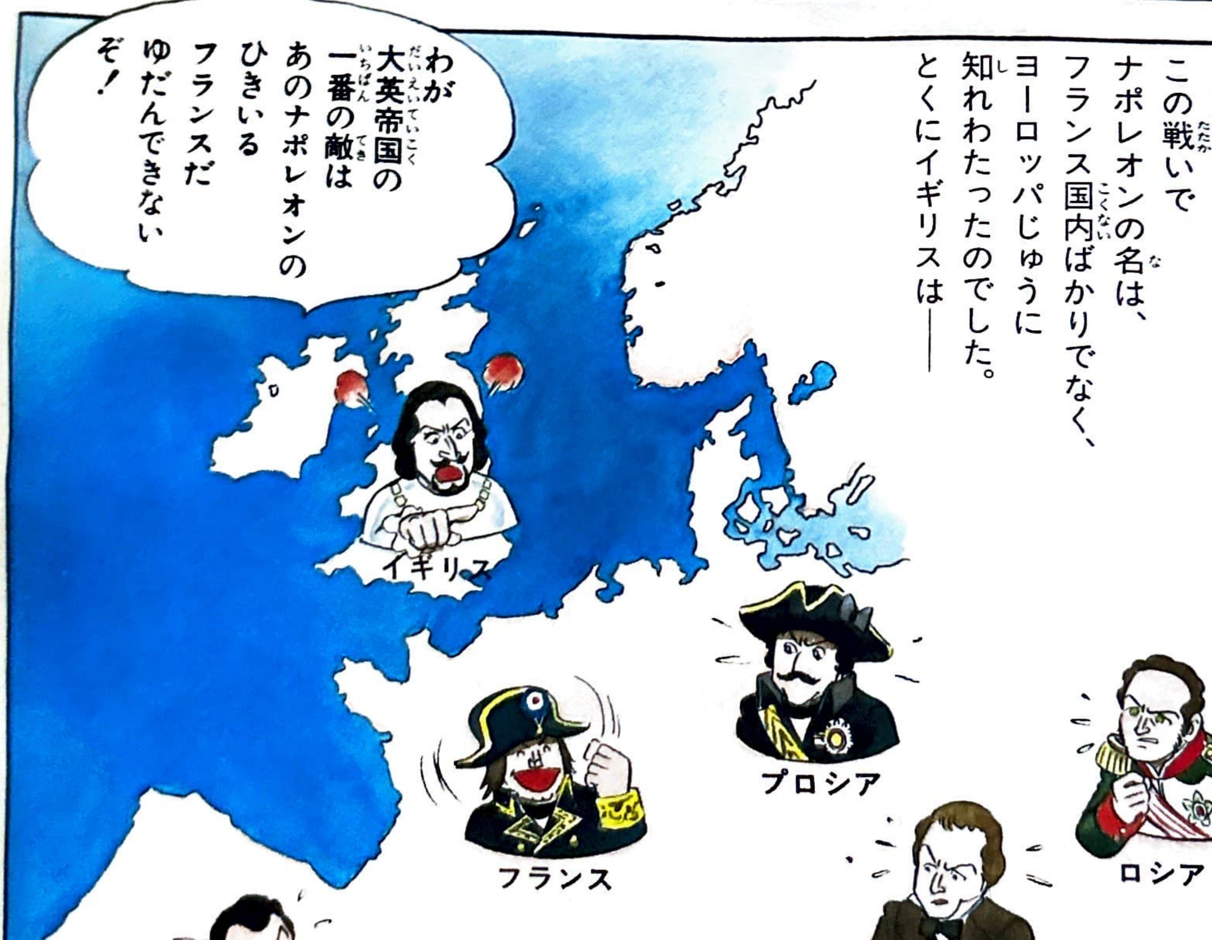
アルコレの激戦は三日間もつづき、オーストリア軍は数万もの戦死者をだししりぞきました。
国民議会
なに オーストリアが ついに降伏しただと!
ボナパルト将軍は オーストリアとの 平和条約を むすばれました
あ あいつめ われわれの ゆるしも なしに…! かってに…
まあ いいでは ありませんか
おかげで お金も たくさんはいり 苦しかった わが国も らくに なります
ボナパルト将軍は まさに わがフランスの 救世主ですぞ
シエイエス


イタリア半島
ミラノ
ロディ
マントバ
アルコレ
ポー川
いきおいにのったフランス軍は、マントバのとりでをせめおとしました。


ボナパルト将軍ばんざい
ばんざあい！
一七九七年一二月ナポレオンは一六万人のほりょと、敵からうばった一五〇〇門の大砲をしたがえてパリにもどってきました。およそ一年半の長い戦いでした。


フランスばんざい
英雄ばんざあい

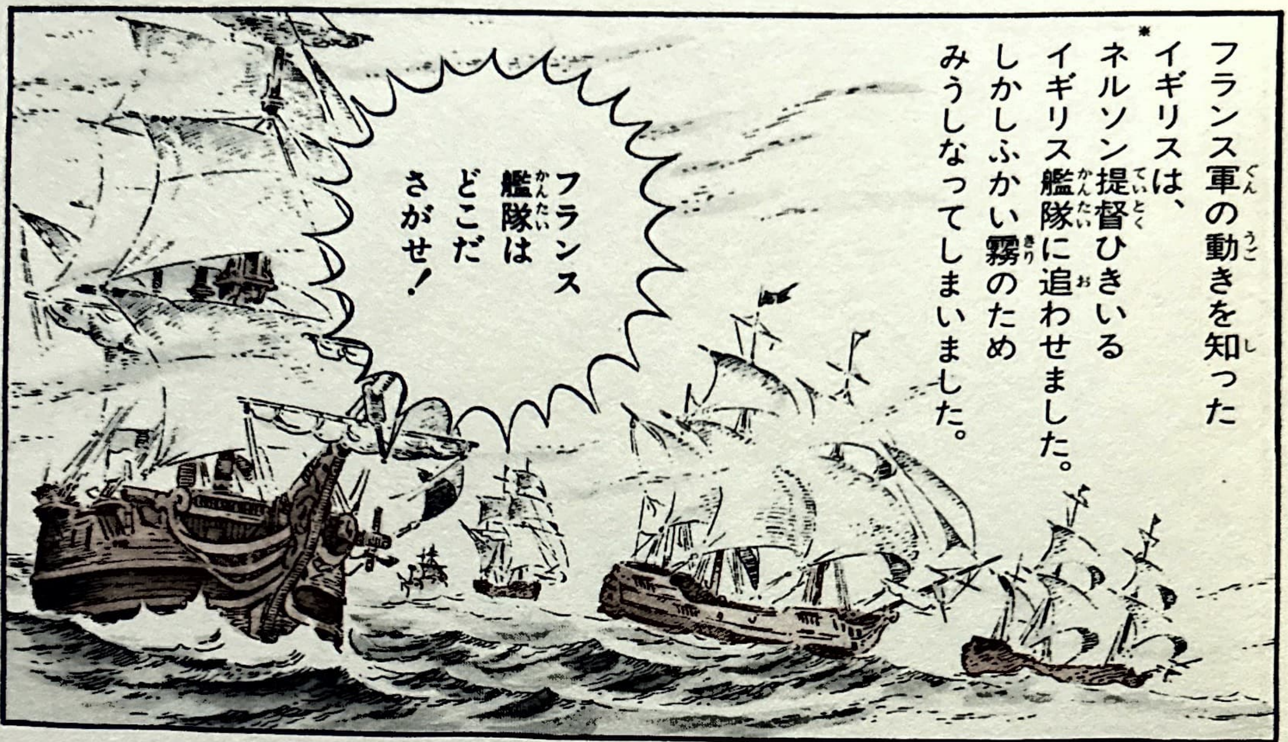

あのはげしい戦いのなかでよく生きて帰れたものだ
わたしはアレクサンドロス大王やカエサルと同じ星のもとに生まれたのかもしれん!


この戦いでナポレオンの名は、フランス国内ばかりでなく、ヨーロッパじゅうに知れわたったのでした。とくにイギリスは——
わが大英帝国の一番の敵はあのナポレオンのひきいるフランスだ ゆだんできないぞ!
イギリス
プロシア
ロシア
フランス
オーストリア
ポルトガル
スペイン
イタリア


革命はおわった
イタリア遠征からもどった翌年の一七九八年――
ねえ ブーリエンヌ 今度はエジプト遠征ですって
ええ この一二日 政府から ゆるしが でましてね
このころ ナポレオンの幼年学校時代の ただひとりの友人だった ブーリエンヌが、 ナポレオンの秘書に なっていました。
どうして そんな 遠いところまで いかなきゃ ならないの
ううん いろいろ 理由は ありますが
イギリスとの 戦いを 有利にすすめる ためですよ いま一番の敵は イギリス ですからね
ブーリエンヌ こんなところで なにをして いるんだ! すぐしたくに かかれ!



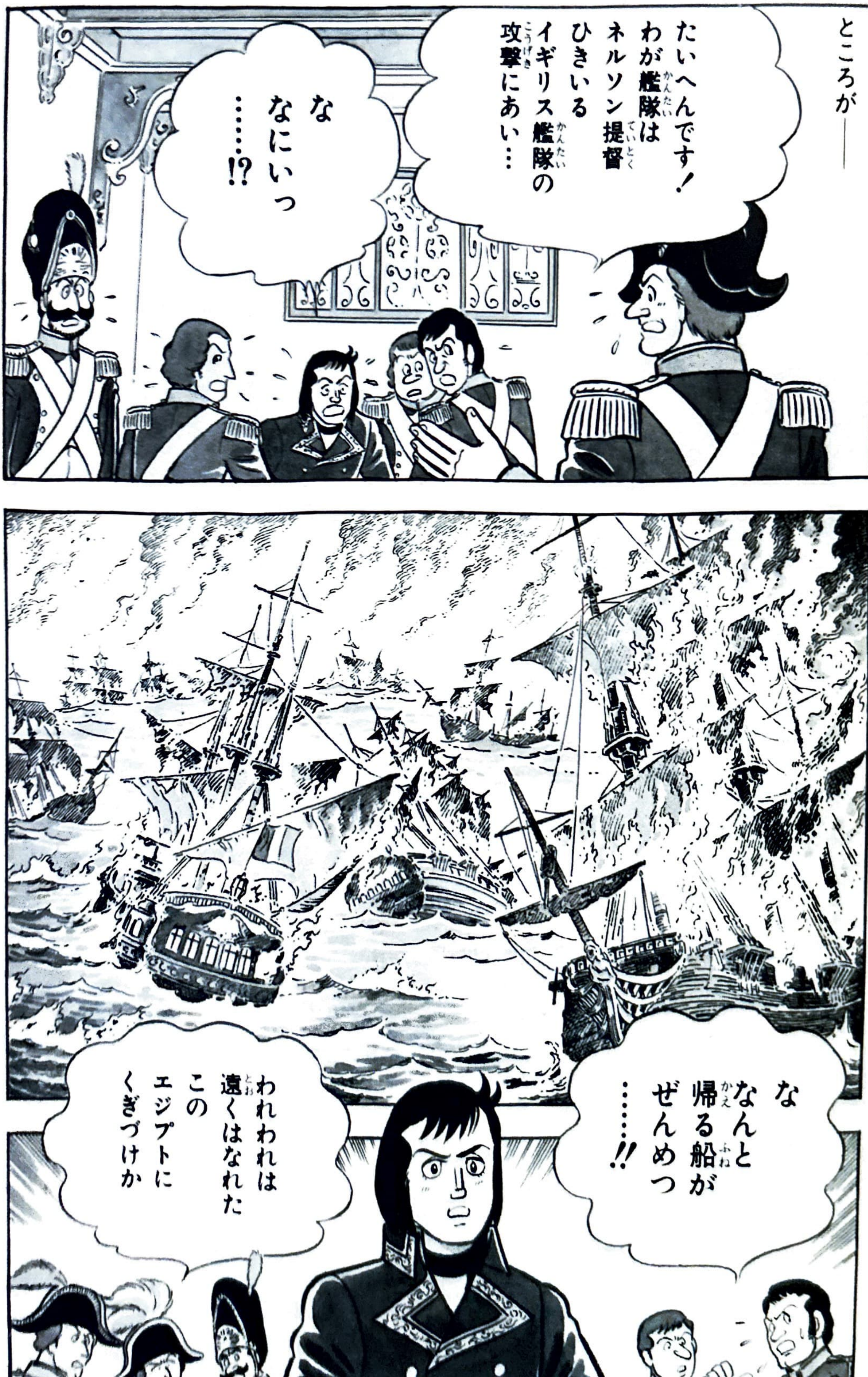
※植民地…外国に本国の人を移住させ、土地を新しく切りひらかせ、本国の一部として政治がおこなわれている地域のことです。





※ネルソン提督（一七五八〜一八〇五）…イギリス艦隊の名総司令官です。


やがて
はげしい戦いが
はじまり
ましたが、
フランス軍は
敵軍を
うちやぶり、
七月二四日
カイロに
はいりました。


ところが——
たいへんです！わが艦隊はネルソン提督ひきいるイギリス艦隊の攻撃にあい…
な　なにいっ……!?
な　なんと帰る船がぜんめつ……!!
われわれは遠くはなれたこのエジプトにくぎづけか


ははは それくらいのことでうろたえるな
し しかし このままでは食糧も弾薬もなくなってしまいます!
食糧はナイル川の水を利用して兵士とエジプト人に畑をつくらせればよい!
な なるほど自給自足ですな
…で弾薬のほうは…?
火薬のもとになるものをみつけだすのだ!
それから学者の諸君にはひきつづきあらゆる方面から
エジプト文明を調査するようにつたえてくれたまえ





※ロゼッタ・ストーン…ナイル川河口のロゼッタで発見された石碑で、古代エジプトの文字がきざまれていました。一八二二年、フランスの学者シャンポリオンによって内容があきらかにされました。


戦争だけが目的じゃないとはさすがだね
やはりあなたは歴史にのこる大英雄だ
しかし予想以上に苦しい戦いになってしまったなははは
将軍 イギリス艦隊がこんなものをとどけてきました
なに これはフランスの新聞じゃないか
な なんてことだ わたしがるすのあいだにフランス国内はめちゃくちゃになっているではないか
イタリアがうばいかえされたあげく
ロシア
オーストリア
イギリス
フランス
イギリス オーストリア ロシアの連合軍が国境近くまでせまっている
エジプト


イギリス艦隊は将軍をがっかりさせるためにわざわざこれを…
なんというなさけない政府だ
これほどの勝利をだいなしにしおって！このままではフランスはほろんでしまう！
一七九九年一〇月ナポレオンはわずか五〇〇人の部下をつれ、四せきの船でツーロンの港に帰ってきたのでした。
ボナパルト将軍ばんざあい
将軍がもどったからもう安心だぞ
フランスの救世主がきたからにはもう敵なんかこわくないぞ

フランスに帰ったナポレオンは、これからの政治について話しあいました。





※タレイラン（一七五四〜一八三八）…貴族の家に生まれ、革命後、四〇年間にわたって政治家をつとめました。

※フーシェ（一七五九〜一八二〇）…タレイランとともにナポレオンを助けた政治家です。



※バラス…(一七五五~一八二九)…政治家で、ジョゼフィーヌをナポレオンに紹介したといわれています。


だまれ
ボナパルト将軍の一派に政治をまかせられるか
軍人は政治に口をだすな
自由と憲法を守れ！
そうだ そうだ 軍人は出ていけ
このころ ナポレオンの弟 リュシアンは——
兵士諸君 将軍が議員によって議場から追いだされようとしている！
議員たちは国家のために戦ってきた英雄を罰しようとしている
そんなばかな連中に政治をまかせておけるだろうか！ このままでは国がほろびてしまうぞ！


わがフランスをすくえるのは政治家ではない！
すくえるのはボナパルト将軍だけだっ！
われわれは人民の代表だぞ！
軍人は議場から出ていけ！
ワァァ
将軍ボナパルトの名によって議会の解散を命じる！


こうして
ナポレオンは、
武力によって
議会を解散
させました。
これを
「ブリュメール
一八日のクーデター」
といいます。
ワーワー
そして一二月
新しい憲法が
発表され、
それまでの政府にかわって
新しい政府が
うちたてられました。
えらばれた
三人の統領のうち、
ナポレオンは
一番権力の
ある位につきました。
パチパチ
いまの
フランスを
すくうには
話しあいで
決めていては
まにあわない
いま
国を
すくえるのは
わたしの
判断力しか
ない…


また市民も——
いまの政治家にはなんの力もない
だれでもいい！国を平和にできる人にまかせよう
こうして新しい憲法に賛成か反対かを問う選挙でも新政府が圧勝したのでした。
市民諸君 革命はおわったのだ！
ナポレオンばんざい
英雄ばんざあい



※チュイルリー宮殿…パリ市内にあり、一五六四年に着工。ベルサイユ宮殿の新築後、あまり利用されませんでした。マリー・アントアネットがパリにきたときにとまっています。※ロバに乗って…雪がたくさんつもっている山を歩くには、ウマよりロバのほうがむいていました。



※ダビッド（一七四八～一八二五）…画家でロベスピエールの支持者でしたが、ロベスピエールが死ぬとジャコバン派を裏切り、死刑をまぬがれました。この時代に数多くの名画をのこしています。


進め！栄光への道を！
タラン タラン
タラララン トントン
おお みろ 少年鼓手が雪にうもれたまま…
トトン タラン
進め！進め！
トントン タラララン
砲兵隊長 あの高い山を大砲はぶじにこえることができるか？
将軍 「不可能」ということばは弱さのいいわけにすぎませんぞ
作戦はぜったいに成功させてみせます！
このときの砲兵隊長のことばが、のちにナポレオン自身のことばとしてあやまってつたえられ有名な名言となったのです。
『わが辞書に不可能の文字はない!!』



このように英雄ナポレオンの言動は、のちにさまざまな名言や伝説を生んでいったのです。
こうして四万のフランス軍は、約一〇日間でアルプスをこえたのでした。
この作戦をうけて最初は大混乱におちいったオーストリア軍も六月一四日のマレンゴの決戦では――
ううむ 敵は大軍だ こちらの兵を二組にわけたのが失敗だったか…
もう一隊はまだもどらぬか


将軍
もう一隊が
かけつけて
きましたっ！
六〇〇〇の
味方です！
ウォー
ワー
ドドドド
ドドド
大軍で勝ちほこり
ゆだんしていた
オーストリア軍に、
もう一隊と合流したフランス軍が
せめこんでいきました。
それっ
一気に
オーストリア軍を
けちらせ
こうして
わずかな時間で
フランス軍は
逆転勝利を
おさめたのでした。
そして
オーストリア軍に
イタリアから
しりぞく約束を
させたのです。


わあ 将軍だ なんという すごい行動力だ
なにしろ 一日四時間 しか ねむらないと いうぜ
そのかわり ねるときは 何日も ねむりつづける とか
お帰りなさいませ 戦勝 おめでとう ございます
さっそく お祝いの パーティーを
おお ジョゼフィーヌ それはあとだ わたしは ねるぞ
ナポレオンの一日四時間の睡眠について、秘書のブーリエンヌは、「ナポレオンは一日七時間はねむるし、午後もうとうとして……、ほかの者には徹夜をさせても、自分はよく寝るようにしていた」…と書きのこしています。
ゴゴゴゴ
ンガ〜〜



フランスを栄光にみちびける人間はわたししかいない
フランス革命を完成させたそれをさらに発展させヨーロッパをひとつにする
それがわたしの使命なのだそのためにはもっと強い力が必要だ！
一八〇二年八月、ナポレオンは、国民の多くの支持をうけ、死ぬまで政治の実権をにぎるということに決めました。
ラパイオーネとばかにされていた男がここまでのぼりつめるとは…
これが結末ではあまりおもしろい英雄伝とはいえないよ
えっ？



※ナポレオン法典…フランス革命後得た国民の権利（個人が財産をもつ権利、個人の意思の自由、平等など）を守るために、この法律がつくられました。

※レジオン・ドヌール勲章…国につくした人にあたえるフランス最高の勲章で、一八〇二年に制定されました。


いまや わが名は 永遠に歴史に のこるだろう
あとは この権力を 子から孫へと うけつがれる ものに したい
ああ 子から 孫へ…
どうして わたし たちには 子どもが 生まれない のかしら…
皇帝…!?
国王などという いいかたでは わたしには ふさわしくない
皇帝なら 国王よりも 偉大だ!
おお フランス皇帝 ナポレオン・ボナパルトの 誕生ですね!


一八〇四年五月
国民議会はナポレオンの
皇帝即位を決め、
国民投票をおこないました。
その結果は、
賛成三五七万票
反対はわずか
二五〇〇票でした。
皇帝陛下の
誕生だっ！
ばんざあい！
フランス
皇帝
ばんざあい！
ナポレオン
皇帝陛下
ばんざあい！
共和政治に
皇帝なんて
おかしいです
よねえ
国民は
革命からの
不安定な
政治に
うんざり
させられ
たのだ
国民は
ナポレオンの
政治に希望を
もちたいのだろう


そして一八〇四年一二月、パリのノートルダム寺院で戴冠式がおこなわれることになりました。
皇帝のしるしである王冠を頭にのせる儀式です。ローマ法王がナポレオンに冠をかぶせようとしたとき――
ああ
パ
この冠は神からではなく
こうしてナポレオンは、フランス皇帝になり政治の権力のすべてを手にいれたのです。このときナポレオンは三五歳でした。


国民からさずけられる王冠なのだ
おおっなんとだいたんなことを！
いやいやあのおかたらしいやりかただ
王妃にもわたしからかぶせよう
皇帝ばんざい！
皇帝よ永遠に
このあとナポレオンは皇帝としてフランスの国土を守り、フランス人の幸福のために一生をささげることをちかいました。



※ベートーベン（一七七〇～一八二七）…ドイツに生まれた作曲家で、耳がきこえなくなりながらも、「交響曲第五番（運命）」「交響曲第六番（田園）」などの数多くの名曲を作曲し、いまでも多くの人びとにきかれています。







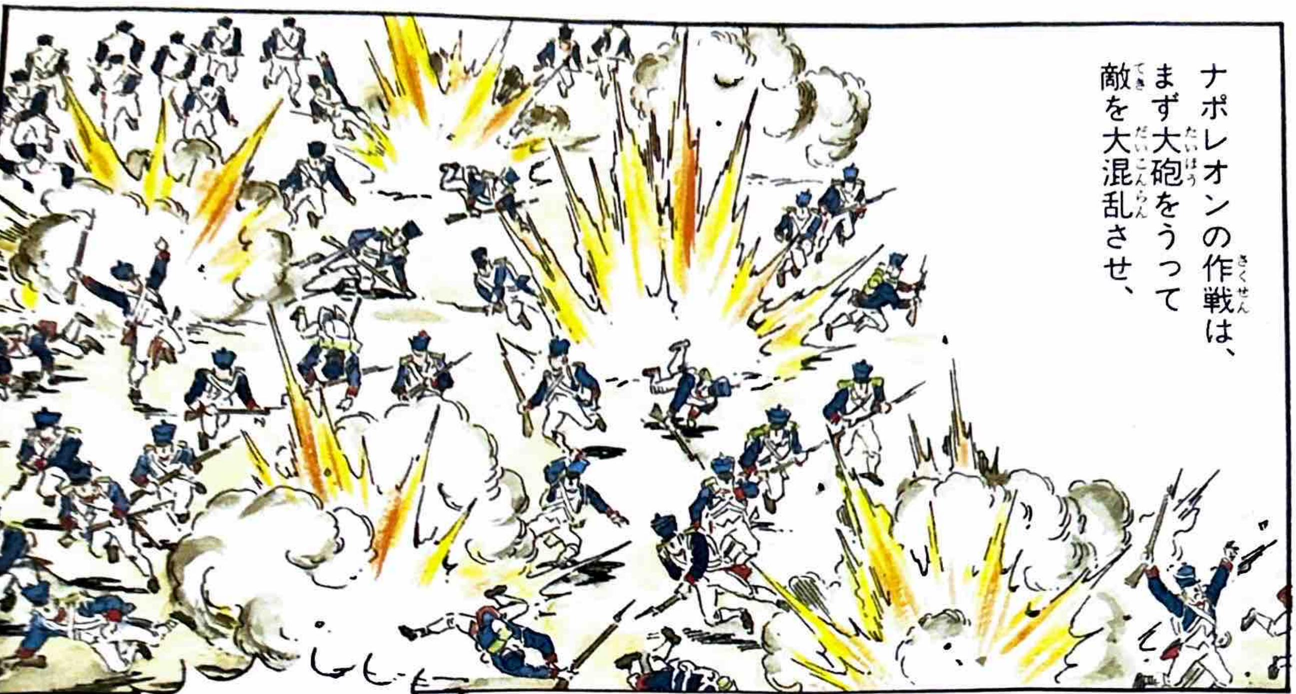
※交響曲…ベートーベンのこの曲は、「交響曲第三番（英雄）」として今日でも有名です。



しかし、陸戦では強かったフランス軍もトラファルガー沖でネルソン提督ひきいるイギリス艦隊との海戦では――
フランス艦隊め！世界最強の海軍イギリス艦隊の力をみせてやる！
ネルソン提督 わがイギリス艦隊の大勝利です！
フランス艦隊はぜんめつしました
名将といわれたネルソン提督は、この海戦で大けがをして勝利の報告をききながらなくなりました。
艦隊がぜんめつしてはイギリスへせめこむことはできない
ようしならばイギリスの味方をするヨーロッパの国ぐにを攻撃しよう！


フランス
コルシカ島
地中海
トラファルガー沖
アフリカ大陸
ネルソン提督

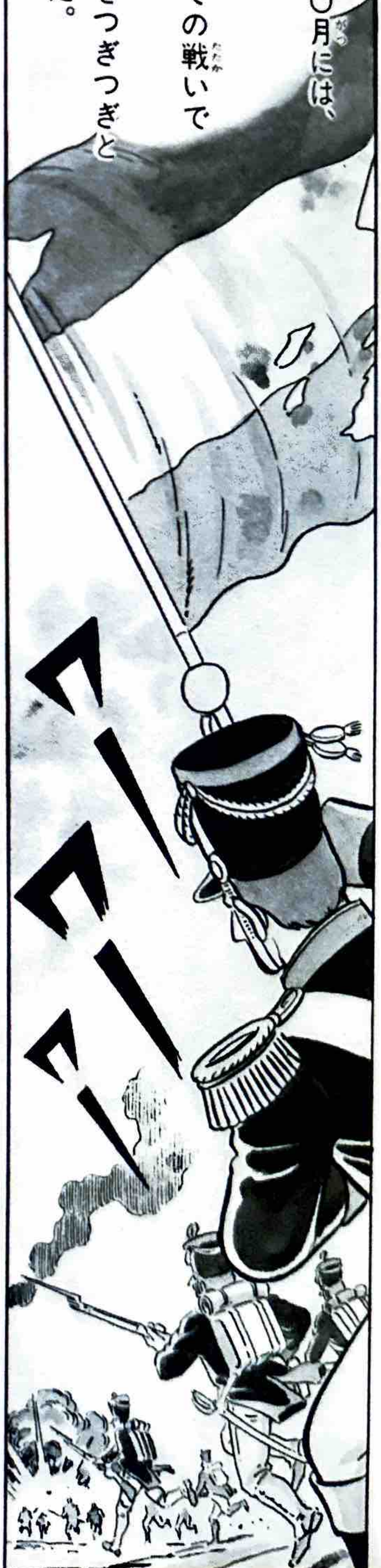

一八〇五年一二月
フランス軍はオーストリアの
アウステルリッツで
ロシアとオーストリアの
連合軍に攻撃をはじめました。
まず砲兵隊うてえっ
アウエルシュタット
イエナ
ワーテルロー
パリ
ウルム
アウステルリッツ
マレンゴ
地中海


ナポレオンの作戦は、まず大砲をうって敵を大混乱させ、


敵がひるみはじめると、
それっ騎兵隊のばんだ敵をけちらせ


さいごに歩兵が突入するのでした。
ウオオオー!!

翌年の一八〇六年一〇月には、
ナポレオンは
イエナと
アウエルシュタットでの戦いで
プロシア軍をやぶり、
ヨーロッパの国ぐにをつぎつぎと
手にいれていきました。











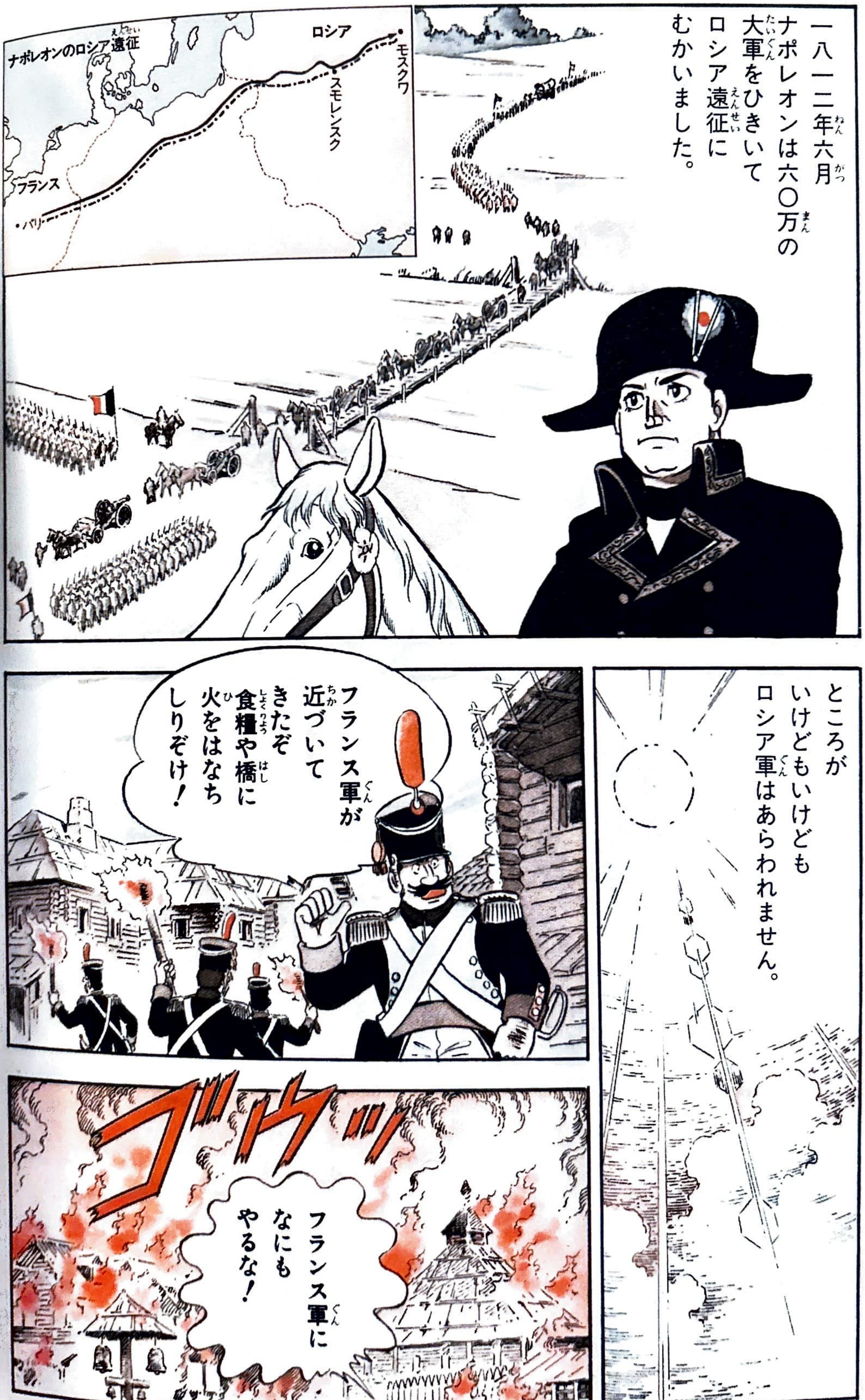
したがわぬものは
力で
したがわせる
までだ！
それが
ヨーロッパ全体の
ために
なること
だからな
その
つみ荷は
イギリスいき
だな
全部おろせ
大陸封鎖令に
違反してる！
焼きはらえ！
こらっ
その船は
イギリスへ
むかう船だな
ひきかえせ
さもないと
船をしずめるぞ！
ドオーン
この大陸封鎖令により
イギリスはこまり
ましたが、
もっとこまったのは、
ヨーロッパの国ぐに
でした。
ひぞぞっ


なぜなら
ヨーロッパの国ぐには
イギリスとの貿易ができなく
なったからでした。
そこでこっそり
貿易をする国もありました。
ポルトガルは命令にそむきイギリスと貿易をしている
こらしめてやれ！
ナポレオンの強引なやりかたは、ヨーロッパの国ぐにの反発をうけました。
ナポレオンはポルトガルにせめこんだついでにスペインまで征服した
兄のジョゼフをスペイン王にしやがった！ばかにするにもほどがある
みんな力をあわせてフランス軍をスペインから追いだそう！

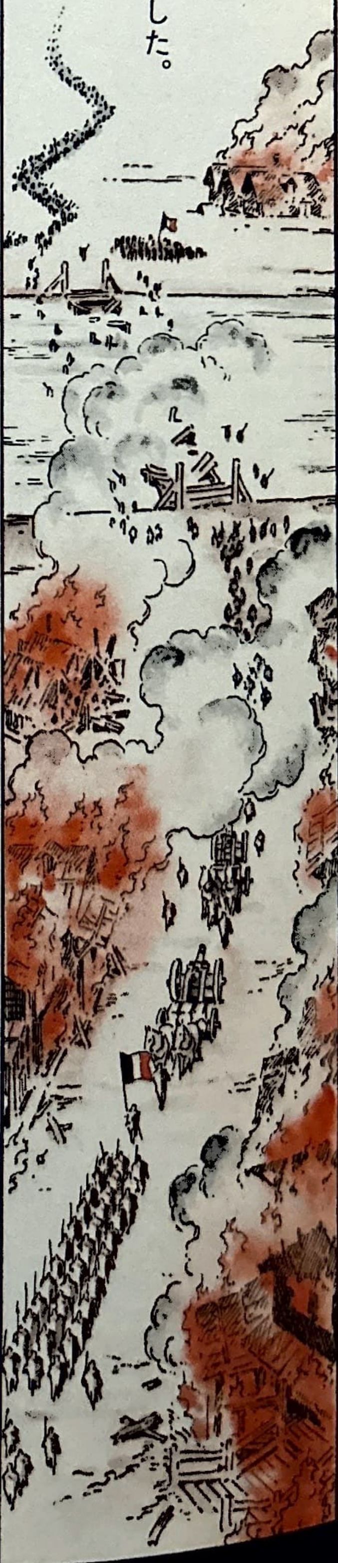

市民のいかりをナポレオンに思いしらせてやろう
一八〇八年スペイン各地で市民の反乱がつぎつぎおこり、七月にはついにフランス軍をうちやぶりました。
そのつぎの年の冬
ジョゼフィーヌ きみは わたしにとって 最高の女性だった しかし…
わかってくれ これは うそではない
もう なにも おっしゃらないで わたしは フランスのため
いいえ あなたのために 離婚をします
すまぬ…… 皇帝には あとつぎが いなくては ならないのだ
ジョゼフィーヌよ すまない



※マリー・ルイーズ（一七九一〜一八四七）…マリー・アントアネットの兄のレオポルト二世の息子・フランツ一世の娘です。


一八一二年六月ナポレオンは六〇万の大軍をひきいてロシア遠征にむかいました。
ナポレオンのロシア遠征
ロシア
モスクワ
スモレンスク
フランス
パリ
ところがいけどもいけどもロシア軍はあらわれません。
フランス軍が近づいてきたぞ食糧や橋に火をはなちしりぞけ！
ゴウッ
フランス軍になにもやるな！

とちゅうの町や村の食糧は
すべて焼かれていました。
しかも暑さと伝染病のため
多くの兵士と馬をうしないました。
それでもフランス軍は
進みつづけました。



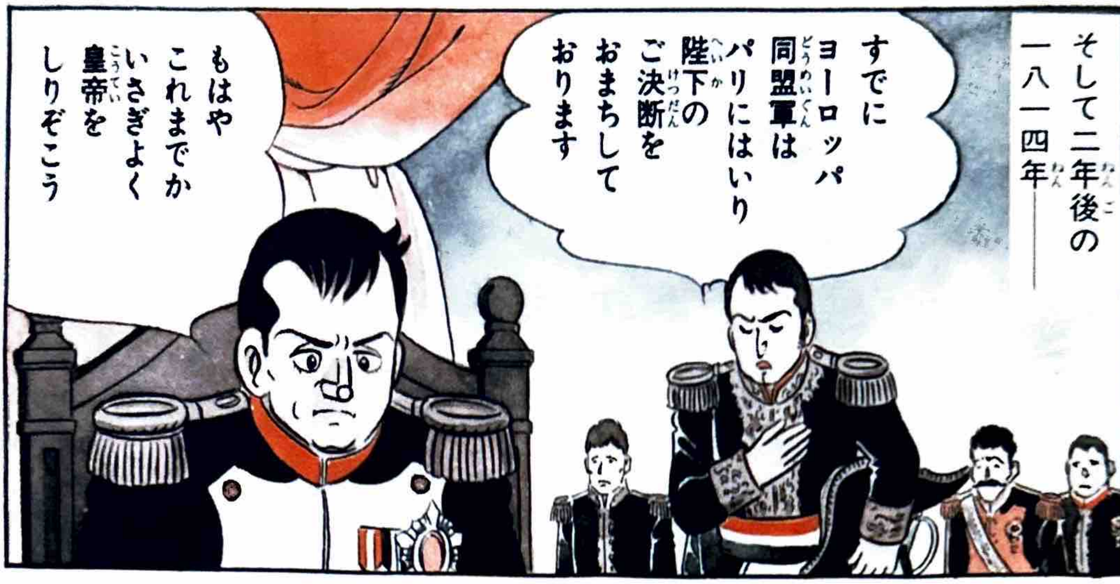


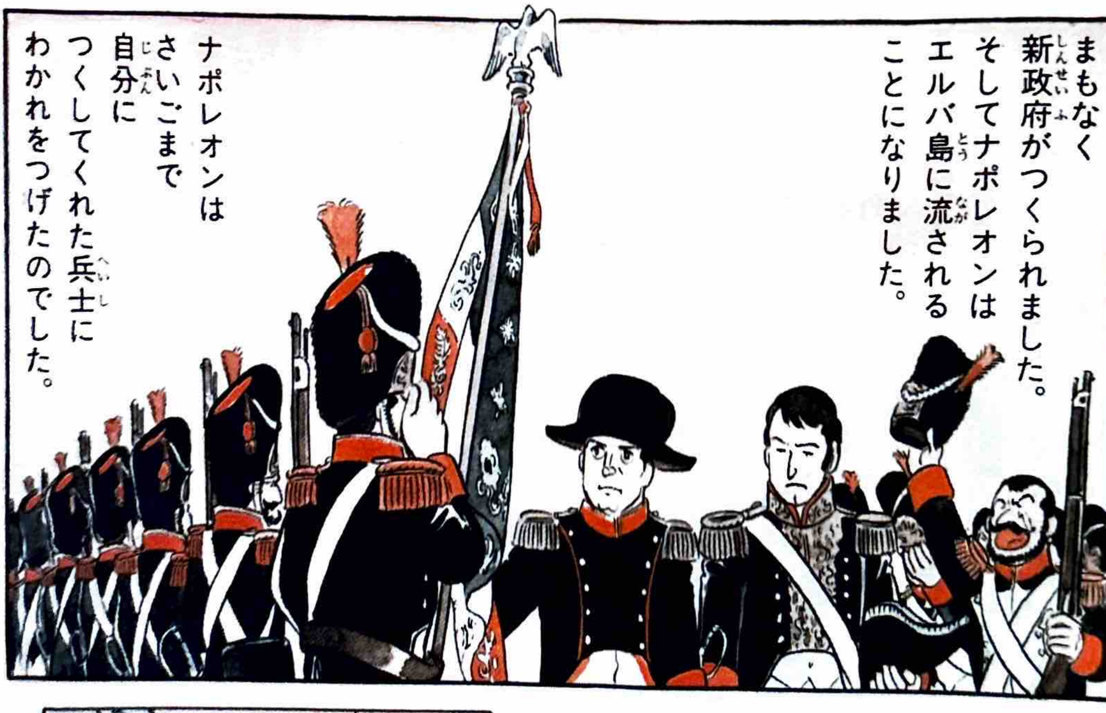

そして九月ナポレオンはついにモスクワを占領したのでした。しかし――
ついに強敵のひとつだったロシアも征服したぞ! ははは
な なんだこれは市内も宮殿もからっぽだ
食糧もまるっきりありません
たいへんです町じゅうで火の手があがっています
ロシア兵が放火したようです
なんとこんな作戦があるとは…
このまま長びけば不利になる! ロシア皇帝と和平をむすぼう

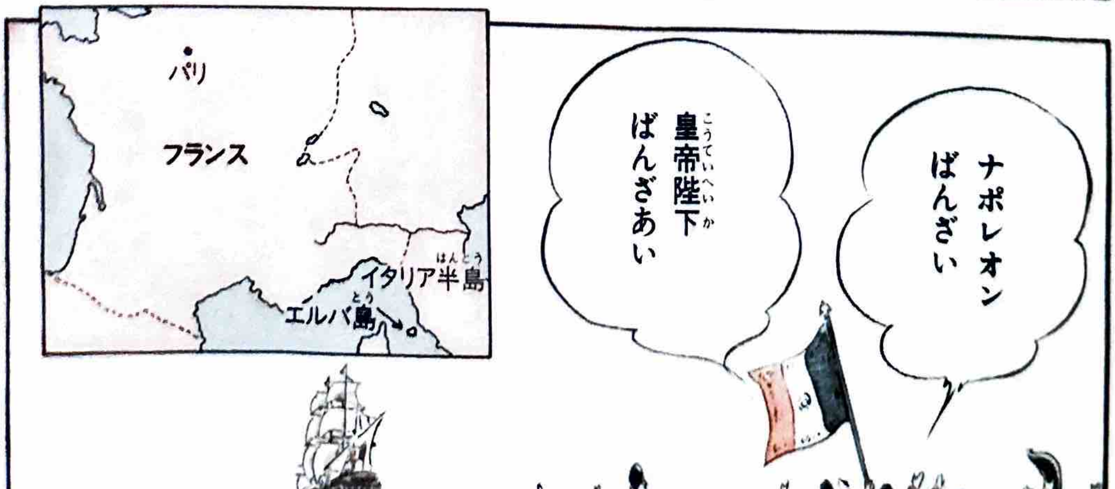

しかし
ロシア皇帝からの
返事がないまま、
いつもより早い
冬がおとずれました。
うう
ロシアの冬は
思っていたより
きびしい
おれたちは
食糧もなく
服も夏用のもので
もうぼろぼろだ
ロシアの
冬将軍は
これまでの
どの相手よりも
強いぞ
このままでは
寒さと飢えで
ぜんめつする！
しりぞくしか
ない…
それっ
いまこそ
反撃のときだ
フランス軍を
やっつけろ
冬将軍とともに
ロシア軍や農民が
せめてきました。



うう
もう
だめ…だ
かあ
さん…
こうしてロシア遠征は
失敗におわりました。
ナポレオンは生きのこった
わずかな兵士に守られ、
やっとの思いで
一二月一八日パリに
帰ったのでした。


そして二年後の
一八一四年——
すでに
ヨーロッパ
同盟軍は
パリにはいり
陛下の
ご決断を
おまちして
おります
もはや
これまでか
いさぎよく
皇帝を
しりぞこう


まもなく
新政府がつくられました。
そしてナポレオンは
エルバ島に流される
ことになりました。
ナポレオンは
さいごまで
自分に
つくしてくれた兵士に
わかれをつげたのでした。


パリ
フランス
イタリア半島
エルバ島
ナポレオン
ばんざい
皇帝陛下
ばんざあい


ナポレオンがエルバ島に流されたあと、かわりにフランスはルイ一六世の弟ルイ一八世が王位につきました。しかし——
ルイ一八世
今度の国王はなんにもできないし外国のいいなりだ！
やっぱりナポレオンはえらかったよな！
ん…？
お おいっ あ あれは！
え あれってなに…？
う うわあ あ あの人は…！


兵士諸君　わたしは
ナポレオンだ
わたしに
反対の者は
発砲するがよい
陛下！
ばんざい！
ナポレオン
皇帝
ばんざいっ！
一八一五年二月
ナポレオンは
エルバ島を脱出し、
三月、
フランスに帰ってきたのでした。


このとき
ナポレオンをとらえるために
出動した兵士までが、
すすんでナポレオンに
したがうことをちかった
といわれています。
さあ
フランスの栄光を
またとりもどす
ために
ヨーロッパ同盟軍と
戦うぞ！
こうして
ナポレオンは流刑から
わずか一〇か月後、
まったく血を流すことなく
パリにはいったのでした。
ひえっ
にげろ



※ウェリントン（一七六九〜一八五二）…イギリス軍の司令官で、のちに首相になりました。


ナポレオンは
わずか三か月の
あいだに集めた
一二万の大軍をひきいて
たちまち
プロシア軍を
うちやぶりました。
おお 勝ったぞ 応援軍が きたぞ！
あれは 味方では ありません
イギリス軍の 応援に かけつけた ロシアの 大軍です！


勝敗はこれで決まりました。
勝利の女神はふたたびナポレオンにはほほえんではくれなかったのです。
パリにもどってから三か月あまりのあっけないまくぎれでした。
これを人びとはナポレオンの百日天下とよびました。


わあっ きれいな にじだ
ようし つかまえて やるぞ


にじめ
にげるな…
そ…そら
今度こそつかま…
ウワアーアアア


ウアアアアァァァ
陛下
ナポレオン皇帝陛下
うなされておいでのようでしたな
ああ夢か…
長い夢をみていた…
ワーテルローの戦いにやぶれたナポレオンは、ふたたび皇帝をしりぞき今度は南大西洋にぽつんとうかぶセント・ヘレナ島に流されたのです。
フランス
アフリカ大陸
セント・ヘレナ島
大西洋





※エトアールの凱旋門…ナポレオンがフランス軍の勝利と栄光を記念してつくらせようとしたものです。一八〇六年に工事にとりかかりましたが、完成したのは三〇年後でした。その四年後の一八四〇年、ナポレオンは遺体となってこの門をくぐりました。



◀戦場へむかうナポレオン。

解説

ナポレオンの時代

東京大学名誉教授　木村尚三郎

◆英雄ナポレオン

「英雄」ということばから、みなさんは、どんな人物像を思いうかべますか。英雄…それは、すぐれた才能と勇気をもち、大きな仕事をなしとげた人間にあたえられる、賞賛の気持ちのこもったことばです。

世界の歴史には、さまざまな英雄があらわれました。アレクサンドロス大王、チンギス・ハンなど、かぞえあげれば、きりがありませんが、もし、世界の人びとのあいだで英雄の人気投票をおこなったとしたら、おそらく、ナポレオンは、ベストテンの上位にあがるにちがいありません。

ナポレオンはいまだに多くの人びとから愛されているのです。いっぽうでは、独裁者といわれながら、なぜナポレオンは、英雄でありつづけているのでしょうか。ここでは、ナポレオンの生きた時代をもうすこしくわしくみていくこと

で、ナポレオンの人気の秘密をさぐることにしましょう。


◀フランス革命がおこって処刑された国王ルイ一六世。


▶処刑された王妃マリー・アントアネット。

◆フランス革命

ナポレオンの生きた時代は、世界の歴史の流れの中でも、大きな変化の時期でした。ナポレオンが五～六歳の一七七五年には、アメリカで独立戦争がはじまり、その八年後にはイギリスから独立しました。この独立戦争は市民に自由と民主主義（国民のための政治を国民がおこなうという考え方）をもたらす市民革命の性格をもち、それから六年後におこるフランス革命に大きな影響をあたえました

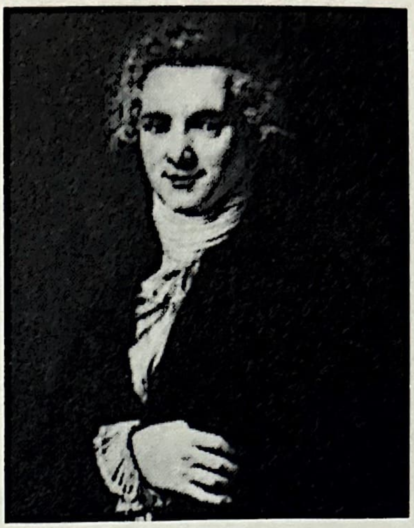
革命前のフランスの社会は、国王のもとに、第一身分（僧）、第二身分（貴族）、第三身分（市民・農民などの平民）の三つの身分に分かれていました。

しかし、全人口の二パーセントにすぎない第一、第二身分の人びとが、国土の四〇パーセントを所有するとともに、国からは年金があたえられ、さらに税をはらわなくてもよいなどの特権をもっていました。

これに対し、第三身分の市民や農民たちは、なんの権利もあたえられず、重い税に苦しんでいました。このような第三身分の人びとの不満が爆発したのが、一七八九年にはじまるフランス革命でした。

革命は第三身分の人びとによってつくられた国民議会によっておしすすめられ、一七九二年には、王政をやめて共和政をしき、農民たちに貴族などのもっていた土地を分けあたえました。そして、翌年には、国王ルイ一六世、王妃

リー・アントアネットを、あいついで処刑したのです。



◀恐怖政治をおこなったジャコバン派の指導者ロベスピエール。

◆ナポレオンの登場

フランス革命がおこると、イギリス、オーストリアなどの諸外国は、連合してフランスをせめました。なにしろ、そのころフランスは、ヨーロッパの政治・文化の中心でしたから、フランスでおこることは、ヨーロッパ全体に大きな影響をおよぼします。このため、諸外国は、革命の波が自国におよぶことをおそれたのでした。

これに対して、フランス国民議会は、各地から兵士をつのって国民義勇軍を結成し、諸外国の攻撃に対抗しました。

ところが、そのいっぽうで、国内でも、王政の復活をのぞむ王党派らの反乱がおこり、フランスは内外の危機にさらされることになりました。このような危機のなか、革命の指導者のひとりだったロベスピエールを中心とするジャコバン派は、反対者をつぎつぎに処刑し、権力をひとりじめしました。

しかし、わずか三か月で二〇〇〇人もの人たちを処刑するという恐怖政治は、国民の反感をよびました。その結果、ロベスピエールは処刑され、ジャコバン派の独裁政治にかわって、新政府がつくられました。

しかし、この新政府の力は弱く、政治は安定しませんでした。革命がはじまってからの長い混乱に、国民の不安はつのりました。農民たちは、革命によって貴族ら特権階級からうばいとった土地を確保するために、これ以上社会が混

乱することをのぞまず、都市の資本家とともに、ひたすら社会の安定をもとめるようになりました。

この要求にこたえて登場したのがナポレオンだったのです。ナポレオンは、武力によって外圧をはねのけ、国内の混乱をおさえました。社会の安定をもたらす強い力をのぞんでいたフランス国民にとって、ナポレオンは、まさに救世主のようにうつったにちがいありません。ここから、ナポレオンの英雄としてのあゆみがはじまったのです。

◆ナポレオンの業績

一七九九年、ナポレオンは武力によって新政府を解散させ、やがて独裁体制をかためて、一八〇四年には、皇帝になりました。それは、フランス革命の精神からは大きくはずれることでしたが、フランス国民は、ナポレオン一世の誕生をかんげいしたのです。いまやフランス国民は、革命よりも国内の安定を、さらには強いフランスをのぞんでいました。そして、ナポレオンこそが、そののぞみをかなえてくれる英雄だったのです。

ナポレオン自身も、そのような国民の期待をよく理解していました。独裁者とはいっても、かつての王族や貴族ほど自分勝手の政治はおこなわず、戦争でも数多くの勝利をおさめるとともに、国内でも、産業を発展させ、フランス銀行の設立、教育制度の整備など、革命後の混乱と回復と発展に力をつくしました。



▶皇帝のきらびやかな衣装をつけたナポレオン。



◀フランス軍の勝利と栄光を記念してつくられたエトアールの凱旋門。

このとき、ナポレオンがはじめたことで、現在のフランスにうけつがれているものに、レジオン・ドヌール勲章の制定があります。この勲章は、現在ではフランス人だけでなく、外国の人びとにもあたえられるようになり、世界的にも名誉あるものとなっています。

また、建築に関心をもっていたナポレオンは、マドレーヌ寺院やエトアールの凱旋門など、皇帝様式とよばれる数多くの建築物をたてました。そしてパリの改造を計画して、エトアールの凱旋門を中心に、八方に放射状の街路が通じるようにしました。エトアールの凱旋門は、ナポレオンがナポレオン自身とフランス軍の勝利と栄光を記念してたてさせたものですが、完成したのは、ナポレオンの死から一五年もあとの一八三六年のことでした。

しかし、これら皇帝様式の建築物は、かつてのナポレオンの栄光を、いまにつたえています。

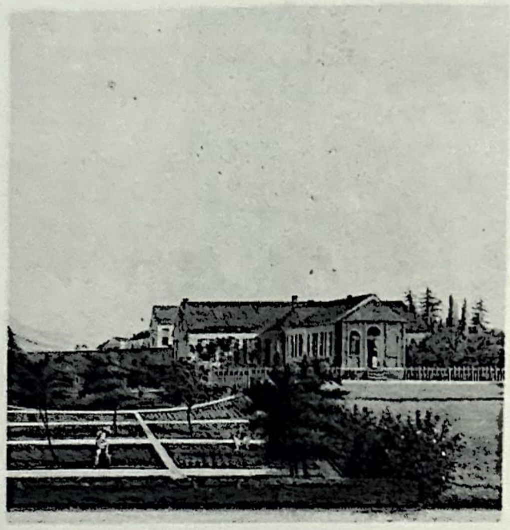
さてナポレオンの業績のなかでも、その最大の成果といえば、なんといってもナポレオン法典の制定でしょう。これは、フランス革命によって確立された自由・平等の精神をもとにつくられた世界初の近代的法典でした。ナポレオンは、征服したヨーロッパ諸国に対して、この法典を発表しました。

その結果、この革命の精神が全ヨーロッパの人びとにつたわり、これによってヨーロッパの各国の人びとは、自由と民族的統一、憲法の制定をもとめ、自国やフランスの圧力と戦うようになりました。

このことが、やがて、全ヨーロッパの支配をもくろむナポレオンの大きな妨

▶ベルギーのワーテルローの丘の上につくられたライオンの像。





▶ナポレオンが、セント・ヘレナ島で住んでいた家。

げとなったことは、なんとも皮肉なことです。

◆ナポレオン人気の秘密

ナポレオンは、新しい戦勝と栄光をもとめて戦いつづけ、その野望は、全ヨーロッパの支配へとふくらんでいきました。

しかし、戦勝と栄光につまずいたとき、つまり、ロシア遠征の失敗とワーテルローの戦いの敗北によって、ナポレオンは、その権力をうしない、一八二一年、南大西洋の孤島セント・ヘレナで、波乱に富んだ一生を終えたのでした。

ナポレオンは、自らを「革命の子」とよびました。ところが、そのいっぽうで、皇帝になるなど、つじつまがあわないこともしています。

しかしそれは、ナポレオン自身の野望であると同時に、フランス国民ののぞみでもあったのです。それゆえにナポレオンは、その後も、フランスの栄光の象徴的な存在でありつづけました。

現在もつづくナポレオンの人気の秘密は、まさに、ここにあるといえるのではないでしょうか。

年表 ナポレオン



年表の見方

◆（　）の年齢は、その年の満年齢（その年の誕生日をむかえた年齢）をあらわしています。
◆下の段のふとい文字は日本のできごと、ほそい文字は世界のできごとをあらわしています。

西暦（年齢）	おもなできごと
一七六八	コルシカ島の独立戦争がおこる。
一七六九	八月一五日、コルシカ島のアジャクシオで生まれる。
一七七八（9）	一二月、父に連れられてフランスへいく。
一七七九（10）	一月、オータンの学校に入学する。 五月、ブリエンヌ陸軍幼年学校に入学する。



日本（世界）のできごと

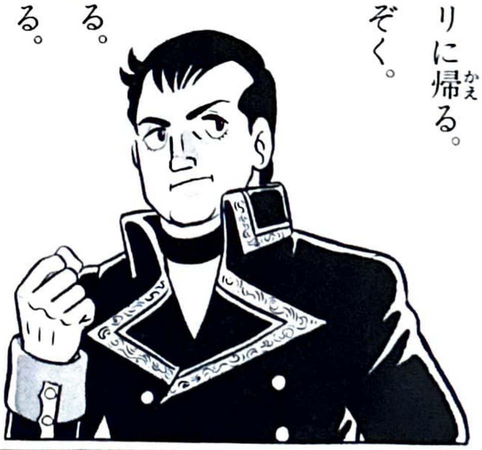
ベートーベン生まれる。（一七七〇）
田沼意次の改革がおこなわれる。（一七七二）
杉田玄白らが『解体新書』を発表する。（一七七四）
アメリカの独立戦争がはじまる。（一七七五）
アメリカが独立宣言をする。（一七七六）

一七八四（15）	一〇月、パリの陸軍士官学校に入学する。	**天明の大ききんがおこる。**（一七八三）
一七八五（16）	二月、父がなくなる。 一一月、バランスの連隊につとめる。	
一七八九（20）	七月、フランス革命がはじまる。 八月二六日、『人権宣言』が発表される。	**二宮金次郎が生まれる。**（一七八七）
一七九二（23）	九月、フランスは王政を廃止して、共和国宣言をする。	モーツァルトがなくなる。（一七九一）
一七九三（24）	一月、ルイ一六世が処刑される。 六月、ナポレオン一家はコルシカ島を追われ、フランスに住む。 一〇月、マリー・アントアネットが処刑される。 一二月、ツーロンをせめおとし、イギリスからとりもどす。	**寛政の改革がおわる。**
一七九四（25）	八月、ロベスピエール派として逮捕されるが、すぐに釈放される。	
一七九五（26）	一〇月、パリの反乱をしずめ、国内軍最高司令官になる。	
一七九六（27）	三月、ジョゼフィーヌと結婚する。 三月、イタリア方面最高司令官として遠征にむかう。	ジェンナーが種痘法を発表する。



一七九八（29）	五月、エジプト遠征に出発する。	**本居宣長が『古事記伝』を発表する。**
一七九九（30）	一〇月、エジプトを脱出し、パリに帰る。 一一月、武力で議会を解散させ（「ブリュメール・一八日のクーデター」）、独裁体制のもとをかためる。	アメリカ合衆国の初代大統領にワシントンがなる。
一八〇〇（31）	五月、アルプスをこえてイタリアにせめこみ、オーストリア軍をやぶる。	**伊能忠敬が蝦夷地の測量をはじめる。**
一八〇二（33）	五月、レジオン・ドヌール勲章を制定する。	**十返舎一九が『東海道中膝栗毛』を書きはじめる**（一八〇二～一八〇九）
一八〇四（35）	三月、ナポレオン法典が完成する。 五月、フランス皇帝になる。 一二月、ノートルダム寺院で戴冠式をおこなう。	
一八〇五（36）	一〇月、フランス艦隊が、トラファルガー沖の海戦で、イギリス艦隊にやぶれる。	アンデルセンが生まれる。
一八〇六（37）	一一月、大陸封鎖令をだす。	フルトンが蒸気船「クラーモント号」の航行に成功する。（一八〇七）
一八〇八（39）	九月、ゲーテと会う。	**間宮林蔵が樺太を探検する。** ハイドンがなくなる。

年	できごと	世界のできごと
一八〇九（40）	一二月、ジョゼフィーヌと離婚する。	リンカーンが生まれる。
一八一〇（41）	四月、オーストリアの王女、マリー・ルイーズと再婚する。	
一八一二（43）	六月、ロシアへ遠征する。 一二月、ロシア遠征に失敗して、パリに帰る。	
一八一四（45）	四月、連合軍にやぶれ、皇帝をしりぞく。 五月、エルバ島へ流される。	スチーブンソンが蒸気機関車を発明する。 ウィーン会議がはじまる。
一八一五（46）	二月、エルバ島を脱出する。 三月、ふたたび皇帝になる。 六月、ワーテルローの戦いでやぶれる。 一〇月、セント・ヘレナ島へ流される。	**杉田玄白が『蘭学事始』を発表する。**
一八二一	五月五日、セント・ヘレナ島でなくなる。	ナイチンゲールが生まれる。（一八二〇）
一八四〇	一二月、遺体がパリに運ばれ、アンバリッドに安置される。	



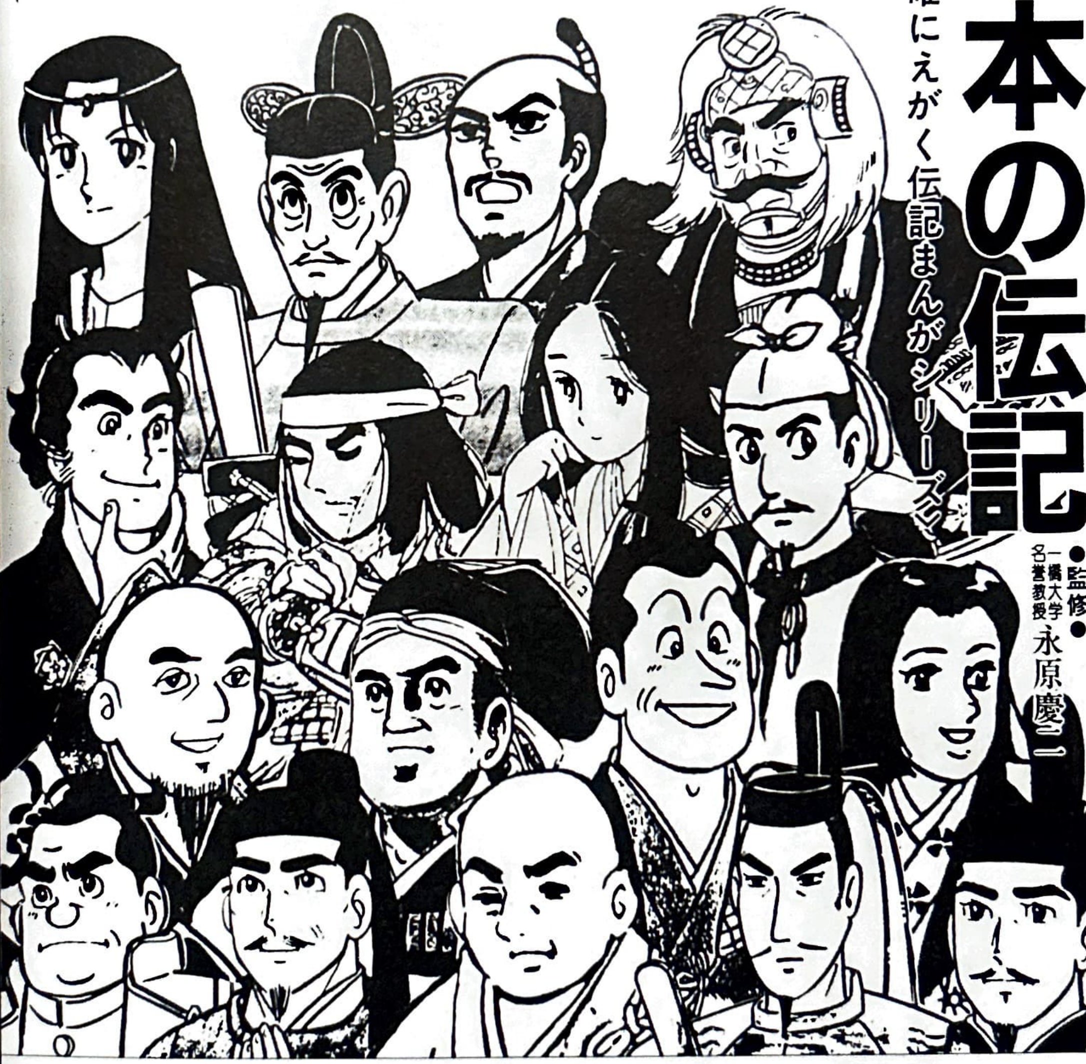
さくいん

学習漫画　世界の伝記　**ナポレオン**

1992年3月24日　第1刷発行
2007年3月6日　第11刷発行

監修　東京大学名誉教授　木村尚三郎
シナリオ　三上修平
漫画　古城武司
発行者　礒田憲治
発行所　株式会社　集英社
〒101-8050　東京都千代田区一ツ橋2-5-10
電話　編集部（03）3230-6144
販売部（03）3230-6393
読者係（03）3230-6080
印刷所　共同印刷株式会社

ISBN4-08-240021-4　C8323

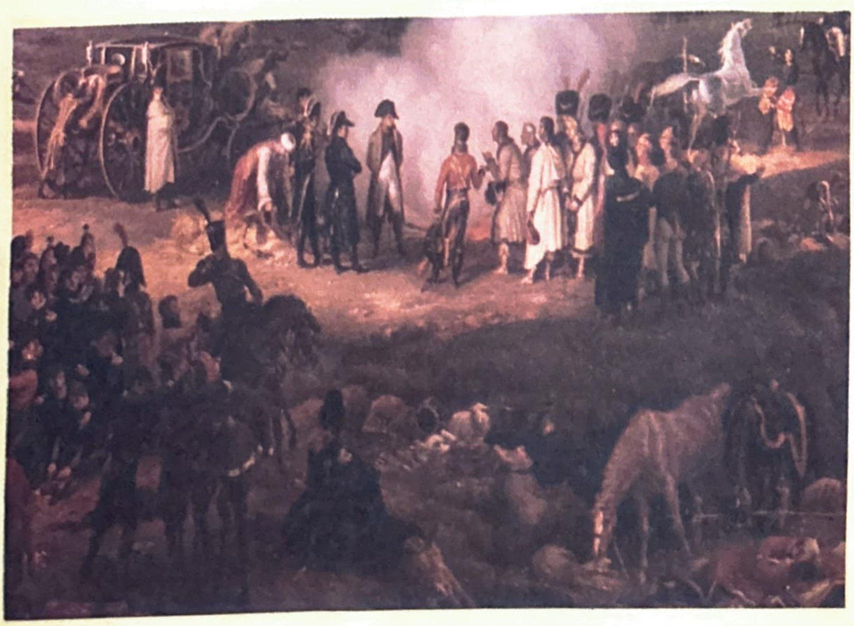




▶一七九三年　ツーロン攻撃
ナポレオンがはじめて指揮をして勝った戦争として有名です。



▶一八〇五年　トラファルガー沖の海戦
フランス艦隊は、ネルソン提督ひきいるイギリス艦隊にやぶれました。



▶一八〇五年　アウステルリッツの戦い
この戦いでは、オーストリアとロシアの連合軍をやぶりました。

ナポレオンとおもな戦争



天才的軍人といわれたナポレオンは、ツーロン攻撃からワーテルローの戦いでやぶれるまで、数多くの戦争をしてフランスを危機からすくいました。

ここでは、おもな戦争のようすを、そのころえがかれた絵で紹介しましょう。

▶一八〇〇年　アルプス越えをしてイタリアにむかうナポレオン

ナポレオンのいさましい姿を画家のダビッドがみごとにえがきました。



集英社版・学習漫画

世界の伝記

ナポレオン

監修／東京大学名誉教授 木村尚三郎

シナリオ／三上修平

漫画／古城武司



集英社